

地域で学び、地域と共に歩む松本大学の今。

松本大学学報

sokyu 蒼穹

2017.6 Vol.127



【特集】教育学部開設・人間健康学部開設10周年

～松本大学 さらなる飛躍へ～ P.02

●台湾・義守大学と交流協定を締結 P.10

●平成29年度就任者紹介 P.12

●平成28年度卒業生の進路 P.18 ほか

教育学部開設 人間健康学部開設10周年 ～松本大学 さらなる飛躍へ～

松本大学は今年度、教育学部開設、人間健康学部10周年の節目の年を迎えることができました。この間、長野県や松本市、松本広域連合の皆さん、特に教育学部開設にあたっては各教育委員会や学校現場の方々からも、一方ならぬご支援をいただきました。加えて地域社会からの温かいご支持・ご声援を得て、ここまでの成果を上げてくる事が出来ました。ここに改めまして、厚く感謝し、心からのお礼を申し上げます。



松本大学 学長 住吉 廣行

【元気に動き始めた教育学部 学校教育学科】

4月に始動した教育学部学校教育学科は、専任教員19名でスタートしました。既設の教職センターに3名が在籍していたため、実質16名を新規採用し、その内訳は本学教員の関係で8名、公募で5名、お世話になった十文字学園・横須賀薫前学長のご紹介で3名で、ベストスタッフが揃いました。

未経験の状態からの出発にあたり、ベテラン教員を多数配置し、その主導のもと学生と共に学部の伝統を創り上げ、4年後から直ちに実績を挙げる。その後、中堅層の教員が引き継ぎ、松本大学らしい教育学部を築いていくという戦略を立てています。始まったばかりですが、学生から「第一志望ではなかったが、先生方の情熱溢れる講義を受けていると、次はどんな内容かとワクワクし今ではこの大学に来て良かったと思っている」といった嬉しい感想が数多く寄せられ、おかげさまで計画どおりの展開となっています。

学部カリキュラムを構成するにあたり、本学の特徴ある学びの手法である現場重視の姿勢を貫くため、1年次後期から「学校ボランティア」、2年次には「学校インターンシップ」など、子どもや教員と接触する機会を増やそうと、教育実習とあわせて教育委員会や学校長に協力をお願いしています。

学部開設にあたっては、当時の伊藤学司長野県教育長（現・文部科学省初等中等教育局財務課長）や赤羽郁夫松本市教育長に文部科学大臣への要請書を認めていただきました。後者は既に本誌にて紹介済ですが、伊藤氏からも「松本大学がその教育手法を活かして教員養成を行うことは、当教育委員会としても大いに期待するところであります」との言葉をいただきました。こうした期待に応えて、「子どもに寄り添う、多彩な能力を備えた教員養成」に全力を尽くしたいと思います。

【着実に成果を挙げてきている人間健康学部】

松本大学開学後5年を経た2007年4月に、人間健康学部を開設しました。本学にとって新しい分野であり、学部・学科の教学理念を実現できる教員を求めるとの苦労しての出発でした。

健康栄養学科、スポーツ健康学科とも基本姿勢は変更されることなく継続され、目に見える成果を挙げています。卒業生は、大学教員、高校や小中学校の教員、市町村で健康づくりに携わる職員、病院や福祉施設での管理栄養士、宿泊施設や一般企業において「食」や「運動」面で健康づくりに携わるなど、大学で学んだ専門性を多方面で余すところなく発揮しています。こうした活躍を見て、後に続こうと志願してくれる高校生も多く、10年を経過して軌道に乗って来たと認識しています。

開学記念日に式典を挙行

4月28日の開学記念日に、松本大学教育学部開設および人間健康学部開設10周年を記念する式典を執り行いました。当日は記念式典の後、サッカー日本女子代表前監督の佐々木則夫氏をお招きして特別講演会を開き、多くの方が聴講されました。式典の挙行に際しご協力をいただきました関係各位、地域の皆様にお礼を申し上げます。



松本大学に新たな歴史 教育学部が誕生



教育学部の専用棟として2017年1月に竣工した8号館。
各種教室、教員研究室、学習室などに加え、第2体育館や部室棟も備えています。

「人づくり」を担う魅力のある学部

教育学部 学部長 川島 一夫

「地域と共に創る教育の未来」の合言葉のもと、松本大学8号館(教育学部棟)の完成とともに教育学部 学校教育学科が誕生し、松本大学に新たな顔が加わりました。教育学部は、1学部1学科、定員は80人、小学校教諭一種と特別支援学校教諭一種の教員免許状取得が可能です。さらに、高等学校教諭一種免許状(英語)・中学校教諭一種免許状(英語)の取得が可能になるよう文部科学省に申請を行っております。新年度から特色ある講義が展開されており、65名の学生が学びを深めています。

これまで長野県内では、教員を目指す高校生は大学進学時に県外に進学するケースが多く、国立大学以外に地元で学ぶ環境はありませんでした。この教育学部ができたことで、小学校教諭や特別支援学校教諭の免許状取得を目指す学生にとって、進学先の選

択肢の幅が広がることになりました。

このように、教育学部が出発できたのも、学校法人松商学園という伝統のもとに、松本大学の歴史を作り上げてきた卒業生の皆様や地域の皆様のご支援あってこそと、本当に感謝しております。教育学部は、大学の「地域貢献」という基本理念のもと、「人づくり」を担うこととなります。「松本大学での教育が、未来の長野県を創る」という理念のもと、教育学部を卒業した学生が、長野県の子どもたちを育てることで、その子どもたちが大人になり「自主独立」の精神で長野県の未来を切り開いてゆくことになるでしょう。

この教育学部は、大学の新しい歴史のひとつとして、教育に研究に、それぞれの個性豊かな教員の力を存分に発揮して、学校教員をめざす若者が集えるような、魅力のある学部にしていきたいと考えています。



学校教育学科の特徴あるカリキュラム

学校教育学科 学科長 岸田 幸弘

学校現場はいくつもの大きな教育課題に直面しています。その一つが特別支援教育です。発達障害の子どもたちは普通教室にも多くいます。そのような子どもたちに対して、全ての教員が適切に指導・援助を行わなければなりません。そして、2020年度から小学校でも英語の授業が教科として導入されます。英語の力を身に付けた教員の育成が必要です。

学校教育学科ではこのような教育課題に

対応し、小学校の教員を目指す(初等教育コース)、小学校の教員と特別支援学校の教員を目指す(特別支援教育コース)、小学校の教員と、中・高の英語の教員を目指す(英語国際教育コース)の3コースを設けています。中・高(英語)の教員免許状に関しては、現在文部科学省に申請中です。

本学科では、特別支援教育や英語のカリキュラムを充実させ、免許取得を目指さない

学生にも履修を認めるようにしています。また国語や算数などの各教科指導法の授業を全教科必修として、充実した教育実習が行えるように考えています。さらに人を育てるために必要な人間性や、現場で即戦力となる力を身に付けるために、体験型の講義(学校ボランティア活動、地域活動実習、学校インターシップ、地域教育活動等)を多く設定し、経験から学ぶ学修を多く取り入れています。前期はまだ座学が多いのですが、学生たちは、国語、音楽、算数、体育等、教育学部ならではの多岐にわたる内容の授業を楽しんで受講しているようです。



教職支援センター：専任のスタッフが学習や教職の相談に応じます。



学習室：個別学修が可能な教室「教学半（=教うるは学ぶの半ばなり）」が、教職支援センターに隣接しています。



先生と生徒の像「ふれあい」
田畑 功・作

教育学部棟（8号館）竣工にあたり、戸田建設株式会社様から寄贈いただいたものです。



ラーニングcommons：学生や教員がゼミや相談の場として使える、研究室前のガラス張りのスペースです。



模擬教室：小学校の模擬授業ができるように、学校の普通教室を再現。オープン教室にもなります。



プレイルーム：特別支援教育に対応した教室で、行動観察を行ったり、教材や遊具を使ってプレイセラピー等を学びます。



図工室：図画工作の専用の教室。このほか、家庭科室、理科室もあります。

教育学部開設の経過

- 2015年 3月 3月30日開催の理事会・評議員会で教育学部設置を議決する。
- 7月 7月28日開催の理事会・評議員会で教育学部設置に係る学校法人松商学園寄附行為変更を議決する。
- 12月 教育学部専用棟（8号館）建設工事に着工する。
- 2016年 3月 文部科学省に松本大学教育学部設置認可及び学校法人松商学園寄附行為変更を申請する。同時に小学校教諭一種免許・特別支援学校教諭一種免許の教職課程認定を申請する。

- 2016年 8月 8月31日付で松本大学教育学部設置及び学校法人松商学園寄附行為変更が認可される。
- 11月 11月28日付で小学校教諭一種免許・特別支援学校教諭一種免許の教職課程が認定される。
- 2017年 1月 教育学部棟（8号館）竣工する。
- 4月 4月5日入学式、第1期生65名が入学する。

他者理解だけでなく自己理解も深める ～ フレッシュマンセミナーを開催 ～

一期生65名と教職員21名は、教職についての理解を深めるとともに、学生同士や学生と教職員の親睦を兼ねて、4月29、30日に1泊2日の日程で、国立信州高遠青少年自然の家においてフレッシュマンセミナーを行いました。一期生は上級生がいません



から、入学してすぐにこの計画に取り組み、組織づくりや役割分担、各セッションの企画、運営をたった2週間で行いました。ほとんどの教員も松本大学に赴任したばかりという状況の中、学生たちがとても頑張って学修や仲間づくりに取り組みました。

長野県教育委員会の先生のお話を聴講して、教職についてのディスカッションを行ったり、スポーツ大会で汗を流したり、野外炊飯ではゼミごとにカレーを作って食べたりと、充実した2日間でした。新たな友人を作り、互いに知り合う中



で、他者理解だけでなく自己理解も深まったのではないかと思います。

リーダーを決める場面では率先して手を挙げる姿があり、協力し合って課題を乗り越える姿に頼もしさを感じました。来年は1・2年合同で実施を考えていましたが、新入生だけでこれだけのことができるなら、学年別の方がよいのではないかと、多くの先生方が感じたようです。

このように教育学部では一つ一つの活動を、教職員と学生達と一緒に作り上げています。

(学校教育学科 学科長 岸田 幸弘)

教員採用試験に向けオリジナル問題 ～ 「マツダイモシ」を初めて実施 ～



教育学部ポータルサイトをひらくと、「特長ある指導体制-2」に採用試験対策[松大模試 マツダイモシ]が掲載されています。本学部のオリジナル問題により実施すること、毎年全学年を対象に行うことなどが書かれています。

模試の解釈はさまざまですが、本学の大きな特長であり、注目度が高い項目です。実施にあたっては、問題の質やいくつかの課題があり心配もありましたが、各科目担当教員が意欲的に取り組み、教育学部教職支援センター相談員の強力な支援を得て、5月17日に1回目を、6月14日に2回目を実施することができました。

今年はまだ1年生だけです。採用試験がどんなものかを味わうことに主眼をおきました。教科担当の教員による出題であると知り、学生は真剣に取り組みました。この指導の最大の特徴は、実施後のフィードバックを重視するところであり、模試実施後ただちに作問担当教員が情熱あふれる解説を行いました。出来たか出来なかったかだけでなく、その問題にかかわる重要な知識や、さまざまな関連事項を解説していきます。問題に関係する資料をもとに、各教員が次々にユニークな解説を行い、緊張感の中にも教室は笑いにあふれました。この様子は、教職支援センターの広報誌「タイムズ」3号で、「ここがスタート、これからの伸びしろが問題です」との見出しとともに紹介されました。

(学校教育学科 教授 増田 吉史)



佐藤 南々帆さん
学校教育学科1年・山梨県立日川高等学校出身

子どもたちの健全な 人間形成に貢献できる 教員を目指したい

小学校の教員が指導するのは成長期の子供たちで、その人間形成に大きな影響を与えます。そうした重要な役割を担う教員を一生の仕事にできればと思い、教育学部に入りました。ここで4年間しっかり学んで、指導の実践力を養いながら、先入観なく子どもを見られる、そして、子どもと向き合える教員を目指しています。

地域における人間健康学部の役割

－ これまで、今、これから －

2007年4月に開設された人間健康学部は、10周年の記念すべき年を迎えました。当初は手探り状態だったのですが、10年の節目を迎え、学部のあり方もようやく地に足が着いてきたように思います。これまでの“来し方”を振り返るとともに、“行く末”について展望してみます。

人間健康学部 学部長 等々力 賢治

人間健康学部開設の必然性

「地域貢献」が、松本大学の教育研究の基本理念であるのは周知のとおりです。したがって、高齢化の進む松本地域に設置された本学が、地域貢献の有力な方策の一つとして、「健康づくり」を担う人材育成と教育研究に取り組む学部を開設したのは必然であったと言えます。開設当初より地域から栄養指導や運動指導への期待や要望が寄せられ、担当する教員を中心に、文字どおり“東奔西走”といった状況が繰

り広げられました。

本学部は、健康の構成要素である「食と栄養」、「運動とスポーツ」という2つの領域をそれぞれカバーする「健康栄養学科」「スポーツ健康学科」の2学科を擁しています。したがって、地域での活動や取り組みは、両学科の大きな柱である管理栄養士と運動指導士の資格取得に必要な実習・実践の場として重要な役割や機能を果たすものでもあったのです。



エア・ウォーター株式会社と連携した健康増進プログラム



地域住民対象の栄養教室

多様な活動による大きな成果と実績

開設以来取り組んできた「地域貢献」は、地域の期待や要望に沿いつつ、それに一方的に応えるだけでなく、学生の教育にも大きなメリットをもたらすウィン・ウィン(Win-Win)の関係にあるものでした。その意味で、昨今、多くの大学が唱えるようになったものと異なり、独自色の強いものであると言えます。

そのなかで、健康栄養学科の各種栄養講座や“一日限りのレストラン”、スポーツ健康学科の各種健康づくり教室や企業での運動指導をはじめ、さまざまな取り組みを旺盛に展開してきました。その具体的な成果が、取

得資格を活かした医療機関や企業、周辺自治体などへの継続的な就職です。本学部の就職実績が、さまざまな取り組みや活動のなかで培われた実践力のたまものです。

就職という点では、両学科のもう一つの柱である教員養成でも大きな成果を収めてきました。すべて過年度(卒業)生ながら、昨年度2名が初めて合格した栄養教諭を含め、この10年間に、保健体育教諭9名、養護教諭4名、小学校教諭6名、計21名が難関を突破して正規教員に採用され、学校現場の最前線で活躍し高い評価を得るに至っています。非常勤講師なども含めれ



スポーツ健康学科の養護教諭養成

ば約70名の卒業生が教育現場で活躍しています。こうした成果・実績は、学生それぞれの努力はもとより、教員の熱心な指導によってこそ得られたものでした。

人間健康学部のあゆみ

- | | |
|---------|---|
| 2007年4月 | 人間健康学部開設健康栄養学科・スポーツ健康学科設置 高等学校教諭一種免許(保健体育)及び栄養教諭一種免許課程設置 健康栄養学科 厚生労働省「管理栄養士養成施設」に指定 |
| 2009年4月 | 中学校教諭一種免許(保健体育)及び養護教諭一種免許課程設置 |
| 2010年4月 | 中学校教諭一種免許(保健)、高等学校教諭一種免許課程(保健)設置 |

【卒業生】

健康栄養学科/561人・スポーツ健康学科/674人(合計1,235人)

【主な資格取得状況(2016年までの資格取得人数)】

- | | |
|------------------------|------------------------|
| ・管理栄養士 368人 | ・健康運動指導士108人 |
| ・健康運動実践指導者224人 | ・第一種衛生管理者404人 |
| ・食品衛生管理者387人 (任用資格) | ・食品衛生監視員387人 (任用資格) |

【教員採用実績(正規)】

- | | |
|-------------------|--------------|
| ・高等学校(保健体育)6人 | ・中学校(保健体育)1人 |
| ・中学校・高等学校(保健体育)2人 | |
| ・小学校6人 | ・養護教諭4人 |
| | ・栄養教諭2人 |

【大学教員】

- | | |
|-----------|----------------|
| ・国立大学助教1人 | ・私立大学助教2人/助手1人 |
|-----------|----------------|



健康栄養学科の実験風景



生坂中学校連携による体力測定・運動指導



生坂村と連携した「田んぼの楽校」

成果と実績を踏まえ“元気な地域づくり”の担い手へ

開設10周年を迎えた今、本学部が問われているのは、そうした成果や実績を踏まえ今後どうしていくのかということです。

それに対する回答の一つが、この間に培った住民・行政・企業・医療機関などとの良好な関係を活かして、従来の「健康づくり」から一歩踏み出し“元気な地域づくり”というコンセプトで、「地域貢献」の質や内容をいっそう向上・拡大させていくことです。広く知られているように、今、企業が従業員の健康の維持・増進を進める健康経営や、地域を潤す取り組みの一つとして、ヘルスツーリズムが注目されています。健康をキーワードにした取り組みは多様ですが、その多くは運動や食を内容とする「健康づくり」が中核にあります。それを、従来の個人や高齢者を対象としたものから、地域社会や壮年層にまで視野を上げ、関連産業の育成や地域経済の発展といった面も含め地

域の活性化を図ろうとするものです。

その実現には多くの困難が伴いますが、それが、超少子高齢化に伴って衰退を余儀なくされている多くの地域・地方の切実な声であり、求め得るのは間違いありません。本学部としても、それを見据え、大学院健康科学研究科、総合経営学部、新設の教育学部の理解と協力を得つつ“元気な地域づくり”の歩みを進め、人材育成に力を尽くしていきたいと考えています。



健康栄養学科の学生が企画し10回目を迎えた「一日限りのレストラン」



無重力の宇宙から地上の健康を考える研究活動



給食経営管理実習で学生、教職員に食事を提供

多くの人に支えられている 馬耕体験プロジェクト

馬耕体験プロジェクト実行委員会代表 中島 弘毅

人間健康学部の学生が運営の中心を担う「馬耕体験プロジェクト」を、4月29日に松本市和田の田んぼで実施しました。同プロジェクトは今年で6回目となりましたが、地域の方々の協力と松本市、生坂村教育委員会等からの後援、そして、多くの企業からの協賛をいただいています。犁を用いて馬で田んぼを耕す体験によって、馬耕という産業技術史の一面に触れてもらうだけでなく、子ども達に自然や動物との触れ合いという楽しみも提供しています。

当日は参加者が200名を越え、多くの子ども達とご家族の笑顔が見られました。馬



耕・犁についての話とともに、馬耕・乗馬・餌やり体験、豚汁の提供などが行なわれ、健康栄養学科・廣田ゼミ、スポーツ健康学科・中島弘毅ゼミの学生が運営に携りました。こ

のプロジェクトが、子ども達にとって、いのちを感じ、自然を思い、日本の原風景と文化に思いを馳せる楽しく、そして生きた学習になることを願っています。



調理の基礎を学ぶ調理学実習



管理栄養士の働く現場に早い段階で触れる「アーリー・エクスポージャー」



アウトキャンパス・スタディで農業生産者を訪問



卒業研究発表会

実践力を備えた食と健康の プロフェッショナル育成をめざして

健康栄養学科 教授 廣田 直子

人間健康学部健康栄養学科では、松本大学のミッションである「地域社会に貢献できる人材の育成」を念頭におき、開学部以来、他大学では成し得ない食の専門家を育成しようと、さまざまな取り組みを展開してきました。「食」という側面から地域の活性化を図ること、健康づくりの推進に貢献できる人材を育成することを通して、「健康づくりの推進と大学教育のあり方」に関する長野県モデルの構築をめざしてきた10年間でした。

管理栄養士の養成を主目的とする大学では、卒業年次の3月に実施される管理栄養士国家試験の合格率を向上させることが重視されがちですが、本学科では、地域との協働による「知識型教育」「経験型教育」「実践的活動を通じた統合型教育」により、管理栄養士国家試験の合格に必要な知識の修得と、食のプロフェッショナルとしてのマインドと実践的能力の向上の両者を達成できるよう模索してきました。

食に関する地域資源を活用したアウトキャンパス・スタディや専門的職場等での早期体験学習によって学習意欲の喚起を図り、地域

からさまざまな形で寄せられる「食に関わるニーズ」に対応した実践的活動を組み入れた教育を展開してきました。これまで実施してきた高校生を対象とした実験教室、地域での健康教室・各種の栄養講座、食育イベント等でのブース運営、地域産物の活用提案、レストラン経営体験などは、双方向型学習による課題探求能力の向上をめざした取り組みでした。学部内に設置し管理栄養士（のちに健康運動指導士も）が常駐する地域健康支援ステーションも、地域協働型教育の柱の1つとなっています。

この10年間、教職員の退職や転出に伴って社会的ニーズ等に対応できるよう教育のあり方を検討し、教育課程の見直しも行ってきましたが、当初の教育理念は継続されています。道半ばではありますが、私たち教職員は、今後も、各自が研究教育と地域貢献活動をブラッシュアップさせ、食の面から健康づくりの推進に貢献できる学生を育成し、地域になくてはならない「健康と栄養に関わる学科づくり」をめざします。

専門性を発揮した地域色ある商品開発と地方創生

健康栄養学科 専任講師 矢内 和博

長野県では、農業や観光が主要産業の一つになっています。こうした分野を通じた地方創生への取り組みとして、健康栄養学科では「食と健康」という視点から、食品加工技術や栄養価への配慮など、学科の特色を活かしたアプローチを考えています。

例えば、松本駅西口の再開発に関する観光ホスピタリティ学科の取り組みでは、住民の憩いの場として「いばらん亭」が大きな役割を果たしていますが、ここで提供されるカレーにアクセントを加えるべく、中濃ソースにリンゴ果汁と香辛料を加えた「いばらんソース」を開発し、側面から支援しました。このことで、幅広い世代が集える場になっただけでなく、ソースの売り上げ



わさび葉ペーストの開発

の一部が従業員の保険料に充てられていることを知り、地域活性化の一助になったと喜んでいました。

それから、県の代表的食材である「そば」「わさび」について、「もったいない」をテーマに、より専門性を活かした商品開発に取り組みました。そば製粉時に出る甘皮部分を焙煎する「焙煎そば粉EX」を開発し、それを原材料とした新商品「信州アルクマそば」は、JRの販売ルートにのって、発売からわずか3年半で50万食が売れる人気商品になっています。また、これまで捨てられていた



「焙煎そば粉EX」を使用し「信州アルクマそば」を開発

わさびの葉を原料にした「わさび葉ペースト」の開発を含め、現在は6次産業推進をテーマに、「健康栄養学科における地域活性化モデル」の一翼を担うところまで発展してきました。

このたび、JR東日本が取り組む地域発見プロジェクト「のもの」アワードにおいて、「焙煎そば粉EX」使用の「信州アルクマそばシリーズ」と称する、そば、クッキー、バウムクーヘン等の商品開発が産官学連携や継続的販売などで評価され、県内で唯一入賞を果たしました。今後も6次産業化を軸に、地域活性化の一層の進展を図ってまいります。

健康運動指導士の育成 10年で着実な成果

スポーツ健康学科 学科長 根本 賢一

健康運動指導士は、財団法人健康・体力づくり事業財団が主催する厚生労働大臣認定の資格で、スポーツ健康学科は平成20年度に、その養成校として認定されました。一次予防に留まらず二次予防も含めた健康づくりのための運動を指導する専門家の必要性が全国的に増したことで、4年制大学における健康運動指導士の養成カリキュラム、資格取得方法等に至るまで大幅な見直しが行われ、平成19年度に28校で養成が開始されています。養成校として認定されるには、医学分野からトレーニング分野、生理学分野、心理学分野、栄養学分野などの科目に加え、実際に運動指導を実施する現場での実習が課されます。健康運動指導士の受験資格を取得するためには30科目(450時間)全てで単位取得をする必要がありますので、受験資格を得るだけでもかなりハードです。

そのような中で、本学科の過去3年間の健康運動指導士合格率は、平成28年度:81.8%(54.8%)、平成27年度:72.7%(53.8%)、平成26年度:75.0%(56.6%)であり、過去10年間、養成校の中ではトップクラスの合格率を維持してきました=()内は養成校78校の合格率。

これまでに健康運動指導士として採用された卒業生の就職先には、松本市役所、安

曇野市役所、大町市役所、南箕輪村、筑北村等の行政、株式会社池の平ホテル&リゾート、エアウォーター株式会社、マイクロストーン株式会社、株式会社日本体操研究等の一般企業、戸田中央医科グループ、順天堂医院健康スポーツクリニック、社会医療法人城西医療財団城西病院、社会医療法人抱生会丸の内病院、医療法人社団青虎会フジ虎ノ門整形外科病院グループ等の医療機関などがあります。

全国の養成校の先生方から「行政や企業への就職支援をどのように行っているのか?」とよく質問されますが、「まずは私たち教員が情熱を持つことです」と笑ってお答えします(行政や企業と連携して、担当者レベルに指導士の重要性をまず理解してもらうなど、ノウハウはありますが詳細については割愛します)。

私たちがこの間、常に心掛けてきたことは、単に専門知識を有した健康運動指導士を社会に送り出すことではなく、人の気持ちに寄り添える健康づくりの専門家を養成することでした。健康づくりのために運動が必要なことは誰しも理解しているのですが、実行できていないのが現状です。今後も、全国各地で本学科の卒業生が健康づくり分野で活躍できるよう、私たちも一層努力を重ねて参ります。



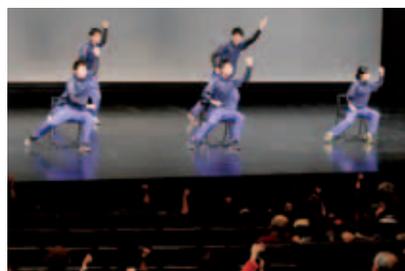
健康運動指導現場実習で地域住民に指導



松本市の「ピンキラキラ健康づくり講座」



池の平ホテル&リゾートと連携したウォーキング指導



丸の内病院で「ピンキラ体操」を実演

FMまつもとに学生が毎月出演

スポーツ健康学科 教授 中島 弘毅

FMまつもとのラジオ生放送番組に、スポーツ健康学科の学生が毎月出演しています。第4金曜日、18時30分～19時放送の、「松本スポーツチャンネル Mスポ」という番組です。学生が、研究活動、クラブ活動、ゼミ活動の様子を紹介したり、スポーツ関連企業でのインターンシップ、教育実習の報告をしたりと、幅広くスポーツに関する話題を提供しています。

昨年度から始まったこの企画は、6月の放送で12回を数え、これまでに20人以上の

学生が出演してきました。今年度は、4月に筋肉に関する基礎研究について紹介する学生が、5月は50歳を過ぎて本学科で学んでいる学生が、そして6月には北信越リーグで1部昇格を果たしたソフトテニス部の学生が出演しました。

スポーツ健康学科で学生がどのような活躍をし、実習、研究等を通してどの様に学び



を深めているのかをお聞きいただければと思います。第4金曜日の午後6時30分に、ぜひFMまつもとに周波数を合わせてみてください。周波数は79.1MHzです。

台湾・義守大学と交流協定を締結

国際交流センター長 糸井 重夫

松本大学と松商短期大学部は5月12日、台湾の高雄市にある義守大学と「学術・人物交流に関する協定」を締結しました。同時に、相互に交換留学生を受け入れる「学生交流に関する覚書」も交わしました。義守大学は、創立20年、その前身時代を含めても30年ほどの若い私立大学ですが、経営学部、観光ホスピタリティ学部、理工学部、医学部、国際学部など8学部を有し、約17,000人が学ぶ総合大学です。

本学と義守大学が協定を結んだ背景には、2015年に松本市が高雄市と締結した



義守大学長(右)、高雄市教育長(中)

「健康・福祉・教育分野の交流に関する覚書」に基づく交流事業があります。昨年、高雄市の教育関係者がこの事業の一環で本学を訪れた際に、「教育分野の交流」が話題となり、大学間交流に向けて動き出しました。そして、この5月、台湾への国際チャーター便が就航したのを機に、本学から住吉学長、柴田大学事務局長、尻無浜観光ホスピタリティ学科長、さらには学校法人松商学園の村瀬直美常務理事が義守大学を訪問し、調印式に臨んだわけです。

この協定と覚書にもとづいて、今後、さまざまな交流事業が実施されます。今年度、学生交流の面では、9月の義守大学の短期プログラムに本学の学生が参加し、来年2月の本学の短期プログラムに義守大学の学生が参加する予定です。両校の学生が語学の学修に加えて、双方の文化や歴史、経

済や社会について、体験を通して学びます。教員交流の面では、住吉学長が10月に義守大学を訪問して学生向けの講演を行い、11月には義守大学の蕭介夫学長が来学され、本学の学生に対して講演を予定しています。また、来年2月には、義守大学の教員が松商短期大学部の開講科目を担当します。これまで、韓国や中国の協定校の教員が持ち回りで担当していましたが、今後は台湾の文化や社会についても現地の教員に直接話を聞く機会ができるわけです。また、来年度以降は、学生交流の覚書に基づき、相互に3名の交換留学生の受け入れが始まります。今回の協定を機に、本学のグローバル化がさらに加速することを期待しています。



済や社会について、体験を通して学びます。

教員交流の面では、住吉学長が10月に義守大学を訪問して学生向けの講演を行い、11月には義守大学の蕭介夫学長が来学され、本学の学生に対して講演を予定しています。また、来年2月には、義守大学の教員が松商短期大学部の開講科目を担当します。これまで、韓国や中国の協定校の教員が持ち回りで担当していましたが、今後は台湾の文化や社会についても現地の教員に直接話を聞く機会ができるわけです。

また、来年度以降は、学生交流の覚書に基づき、相互に3名の交換留学生の受け入れが始まります。今回の協定を機に、本学のグローバル化がさらに加速することを期待しています。

地域活性化へ 麻績村と協定締結

総合経営学科 学科長 矢崎 久

松本大学と東筑摩郡麻績村は、地域づくり、心身の健康確保推進、テレワーク(情報通信手段を活用し、場所や時間にとらわれずに働く労働形態)を取り入れた地域振興などについての地域大学間包括連携協定を締結し、5月9日に麻績村役場で調印式を行いました。

麻績村では東日本大震災以降、福島県内在住の小学生の親子を夏休み期間中に村に招き、自然の中で自由に遊び、農業を体験するサマーイベントを企画しています。ここに本学の総合経営学科でカウンセリングを学ぶ2~3年生と教員が参加し、毎年、親子の心のケアを担ってきました。さらに本学は、村民を対象に意識調査を実施して分析結果を発表したり、村で伝承されている神楽再興にかかわったりしてきました。これらの活動の実績を踏まえて協定を結ぶことで、大学の持つノウハウや、学生の若い感性を生かし、地域活性化に貢献していきたいという考えです。

6月10日に麻績村で開いた地域振興についてのシンポジウム〜新たなワークスタイル『テレワーク』環境の整備と新たな仕事創出を狙って〜には、本学も参加し、地域を元気にする仕組みについて討論を行いました。このように協定を契機として、連携活動がますます発展していくことが期待されます。



前橋国際大学と連携協定を締結

学長 住吉 廣行



去る2月22日、本学が共愛学園前橋国際大学(以下前国大)へ出向き、包括的連携協定を締結しました。前国大は、文部科学省の重要な競争的資金であるCOC、AP、スーパーグローバル大学創生等にことごとく採択され、最も勢いのある大学の一つと認識されています。「消えゆく『限界大学』」(小川洋著/白水社)でも、本学と並び注目すべき大学として紹介されています。今回は、地方から新しい大学のあり方を発信していこうという、野心的な協定締結となりました。

前国大の平田郁美前学長と私は物理仲間、本学へ赴任する前からの知人であり、大森昭生新学長とは同じ研修会での招待講演を互いに見聞し、相手の優れた点を認識していました。相互訪問や学生交流を重ねる中で協定締結に至ったわけです。調印式当日は早速、合同のFD・SD研修会を開催しました。今後活発な取り組みが期待できます。

新生活への期待を胸に

卒業生533名が巣立つ ～平成28年度学位授与式～

春の陽ざしに恵まれた3月17日、平成28年度学位授与式を執り行いました。大学院健康科学研究科4名、総合経営学部180名、人間健康学部180名、松商短期大学部169名の計533名が学生生活を共に過ごした学び舎に別れを告げ、それぞれの道に歩



みを進めました。

修了生・卒業生を代表して人間健康学部健康栄養学科の鍋島ひかりさんが、学友会活動や地域づくり考房『ゆめ』での活動を例に挙げながら、先生方の教えや仲間・家族の支えのおかげで「物事をし始め、継続し、成し遂げ、自分自身を越えていくことができた」ことを振り返るとともに、「仲間たちと共に学び、切磋琢磨してきた大学生生活の全てを宝物にして、力強く進んでゆきたいと思っています」と締めくくりました。

教育学部一期生を迎える ～平成29年度入学式～

4月5日には平成29年度入学式を挙行し、新たに設置した教育学部の一期生65名と大学院健康科学研究科2名、総合経営学部168名、人間健康学部176名、松商短



期大学部221名の計632名が満開の桜に迎えられて門をくぐりました。

新入生を代表して教育学部学校教育学科の宮澤和可奈さんは、小学校教諭になるという夢を実現するため「松本大学の地域に密着した実践的な学びを通して、知識を身につけるだけでなく、様々な経験・体験を積み、社会で必要となる『人間力』を高め、子どもたちに向き合い、寄り添い、一人一人の持つ可能性を広げられる。そんな、教員になれるよう、日々努力を重ねていきます」と決意を述べました。

(総務課長 赤羽 研太)

平成29年度

人事短信

(平成29年4月1日現在)

| | |
|----------------------|-------|
| ■ 学長 | 住吉 廣行 |
| ■ 副学長 | 等々力賢治 |
| ■ 大学院健康学科研究科 研究科長 | 山田 一哉 |
| ■ 総合経営学部 | |
| 学 部 長 | 増尾 均 |
| 学科長(総合経営) | 矢崎 久 |
| 学科長(観光ホスピタリティ) | 尻無浜博幸 |
| ■ 人間健康学部 | |
| 学 部 長 | 等々力賢治 |
| 学科長(健康栄養) | 木藤 伸夫 |
| 学科長(スポーツ健康) | 根本 賢一 |
| ■ 教育学部 | |
| 学 部 長 | 川島 一夫 |
| 学 科 長 | 岸田 幸弘 |
| ■ 短期大学部 | |
| 学 部 長 | 糸井 重夫 |
| 学科長(商) | 山添 昌彦 |
| 学科長(経営情報) | 浜崎 央 |
| ■ 管理部門 | |
| 全学協議会議長 | 等々力賢治 |
| 衛生委員長 | 柴田 幸一 |
| 自己点検・評価委員長 | 住吉 廣行 |
| 人権委員長 | 増尾 均 |
| 健康安全センター運営委員長 | 江原 孝史 |
| 施設管理センター運営委員長 | 柴田 幸一 |
| 危機管理委員長 | 尻無浜博幸 |

入試広報部門

| | |
|-----------|-------|
| 入試委員長 | 山田 一哉 |
| 広報委員長 | 山田 一哉 |
| 高大連携推進委員長 | 山添 昌彦 |
| センター入試委員長 | 矢野口 聡 |

研究推進及び管理部門

| | |
|---------|-------|
| 研究推進委員長 | 木藤 伸夫 |
| 研究倫理委員長 | 山田 一哉 |

学生センター部門

| | |
|-------------------|-------|
| 教務委員長 | 等々力賢治 |
| 教育改善推進委員長 | 山添 昌彦 |
| 教職センター運営委員長 | 川島 一夫 |
| 図書館運営委員長 | 伊東 直登 |
| 情報センター運営委員長 | 浜崎 央 |
| 国際交流センター運営委員長 | 糸井 重夫 |
| 地域健康支援ステーション運営委員長 | 廣田 直子 |
| 地域づくり考房『ゆめ』運営委員長 | 廣瀬 豊 |
| 学生委員長 | 矢崎 久 |
| 就職委員長 | 根本 賢一 |
| 地域連携(COC)戦略会議議長 | 木村 晴壽 |

大学事務局

| | |
|---------------|-------|
| 大学事務局長 | 柴田 幸一 |
| 総務課長 | 赤羽 研太 |
| 管理課長 | 赤羽 雄次 |
| 学生センター長・教務課長 | 丸山 勝弘 |
| 入試広報室長 | 中村 文重 |
| 学生課長 | 田中 雅俊 |
| キャリアセンター課長 | 中村 高士 |
| 情報センター・図書館課長 | 松尾 淳彦 |
| 地域づくり考房『ゆめ』課長 | 臼井 健司 |

法人事務局

| | |
|--------|-------|
| 法人事務局長 | 小倉 宗彦 |
| 総合企画部長 | 青島 金吾 |

新任者

<教 員>

| | |
|------------------|-------|
| 観光ホスピタリティ学科 専任講師 | 今村 篤史 |
| 健康栄養学科 専任講師 | 長谷川尋之 |
| スポーツ健康学科 准教授 | 山本 薫 |
| 学校教育学科 教授 | 今泉 博 |
| 学校教育学科 教授 | 小島 哲也 |
| 学校教育学科 教授 | 小林 敏枝 |
| 学校教育学科 教授 | 羽田 行男 |
| 学校教育学科 教授 | 増田 吉史 |
| 学校教育学科 教授 | 武者 一弘 |
| 学校教育学科 教授 | 守 一雄 |
| 学校教育学科 准教授 | 秋田 真 |
| 学校教育学科 准教授 | 國府田祐子 |
| 学校教育学科 准教授 | 澤柿 教淳 |
| 学校教育学科 准教授 | 濱田 敦志 |
| 学校教育学科 准教授 | 和田 順一 |
| 学校教育学科 専任講師 | 安藤 江里 |
| 学校教育学科 専任講師 | 佐藤茂太郎 |
| 学校教育学科 専任講師 | 内藤 千尋 |
| 教職支援センター 相談員 | 石井 良治 |
| 教職支援センター 相談員 | 高山 雪 |

<職 員>

| | |
|--------------|-------|
| 教務課 主事 | 有賀 佐保 |
| 女子ソフトボール部 監督 | 榎本みなみ |

教育学部 学校教育学科 就任



教育学部長／教職センター長／教授

川島 一夫 (かわしま かずお)

【専門分野】 発達心理学／生徒指導
【略 歴】 信州大学教育学部教授

松本大学教育学部の歴史が始まりました。学生も教員も共に松本大学教育学部の歴史を作ることになります。大学は学校生活の総まとめです。自分を生かし社会に役に立つ人生を送る準備をするところです。「人は人、自分は自分、だけど仲よし」



学校教育学科 教授

今泉 博 (いまいずみ ひろし)

【専門分野】 教師教育／教職論／授業論
【略 歴】 北海道教育大学

松本大学に来てほんとうによかったと実感をごめて語ってくれる学生が少なくありません。子どもたちが生き生き参加したくなるような、深く豊かな授業のできる教師を育てていくために日々取り組んでいるところです。



学校教育学科 教授

小林 敏枝 (こばやし としえ)

【専門分野】 健康／スポーツ科学／障害者スポーツ
【略 歴】 清泉女学院短期大学

新しく開設された教育学部で学生と共に学ぶ機会を得たことは大変嬉しく思います。教員を目指す学生の皆さんが地域活動を通じて豊かな感性を養い、地域と共に歩んでいける教育学部でありたいと願っています。



学校教育学科 教授

増田 吉史 (ますだ よしふみ)

【専門分野】 小学校教育／算数数学教育／学校経営学級経営
【略 歴】 十文字学園女子大学副学長

大正時代、憲政の神と呼ばれた尾崎行雄氏と国会周辺小学校長との対談で、「学校は児童本意なるべし」、「模範的経営は日々の勤勉の中にあり」「教師は紳士淑女たるべし」とあった。立派な教師を育てたい。



学校教育学科 教授

守 一雄 (もり かずお)

【専門分野】 教育心理学
【略 歴】 東京農工大学大学院工学研究院教授

埼玉出身東京教育大学卒業加奈陀留学筑波大学大学院修了教育学博士信州大学東京農工大学教授歴任長野在住愛妻同居息子二人独立孫一人趣味読書雪山清流風光明媚新築校舎勉強研究最適環境親切同僚勤勉学生松本大学万歳



学校教育学科 准教授

國府田 祐子 (こうだ ゆうこ)

【専門分野】 国語科教育学
【略 歴】 東京福祉大学短期大学部

国語に関する科目を担当しています。特に論理的思考力・表現力の育成を専門分野としています。事務局のみなさんは温かく、学生のみなさんは爽やかで、すばらしいところへご縁があったと心から喜んでおります。



学校教育学科長／教授

岸田 幸弘 (きしだ ゆきひろ)

【専門分野】 学校心理学／学校カウンセリング／特別活動／生徒指導／学級経営
【略 歴】 長野県公立小中学校教諭

25年間の小中学校教員の経験を経て、学校心理学やカウンセリング心理学をベースに生徒指導や特別活動などを専門に教えています。学生には、勉学も仕事も面白がって取り組める力、仲間と協働できる力を身に付けてほしいです。



学校教育学科 教授

小島 哲也 (こじま てつや)

【専門分野】 特別支援教育
【略 歴】 信州大学教育学部教授(H11.4~H29.3)

信州大学教育学部から参りました。北アルプスの美しい山麓に抱かれたキャンパスで新しい仲間と一緒に仕事ができることに感謝です。温暖な瀬戸内の生まれですが長野での生活も35年目になりました。よろしくお願ひします。



学校教育学科 教授

羽田 行男 (はねだ ゆきお)

【専門分野】 臨床心理学／心理教育方法学(心理ペダゴジー: psychopedagogie)
【略 歴】 高知県立大学地域教育研究センター教授

<チンパンジーが双子を出産。2頭同時の養育は困難とされていたが、子育て経験がある別のメスが乳母役を買って出て…>動物界でのこんなエピソードも交えながら、教育の方法について学生とともに探究していきます。



学校教育学科 教授

武者 一弘 (むしゃ かずひろ)

【専門分野】 教育学／学校づくり／地域教育経営
【略 歴】 中部大学教職課程教育科教授

地域に開かれた学校づくりの研究や、子どもの学びを核とした親や住民・教師の育ちの研究をしています。こうした研究から、教育とは育ち合いの創造的かつ文化的営みであることを、いつも教えられています。



学校教育学科 准教授

秋田 真 (あきた しん)

【専門分野】 社会科教育
【略 歴】 弘前大学附属小学校

社会科教育担当の秋田と申します。前職は弘前大学附属小学校で主幹をしておりました。「主体的に社会科を学ぼうとする子ども」を育てられる教員に、本学部の学生みんながなれるよう頑張ります。



学校教育学科 准教授

澤柿 教淳 (さわがき きょうじゅん)

【専門分野】 理科教育(初等)／生活科教育
【略 歴】 滑川市教育センター所長代理・指導主事

圧倒的に美しい北アルプス、豊かな田園地帯、歴史ある町並み、音楽、芸術、文化…多彩な魅力をもつ松本の各学校に、理科の手作り教材をお届けしたい、それが「売薬の町富山」から赴任した私の密かな願ひです。



学校教育学科 准教授
征矢野 達彦 (そやの たつひこ)

【専門分野】 国語科教育学／道徳教育
【略 歴】 長野県小・中学校校長

人間健康学部から教育学部に異動です。教職関係の授業に加え、教育学部の道徳教育やボランティア、教育実習や司書教諭に関わる授業が主です。教職支援センターにもいます。何かあったら8号館4Fの研究室に来て下さい。



学校教育学科 准教授
濱田 敦志 (はまだ あつし)

【専門分野】 体育科教育学
【略 歴】 公立小学校教諭

千葉市から来ました。よろしくお願ひいたします。専門は体育科教育学です。頭と身体を使って「賢いからだ」をいかに育むかをテーマに、子どもが夢中になる体育授業のデザインを考えています。



学校教育学科 准教授
和田 順一 (わだ じゅんいち)

【専門分野】 英語教育／第二言語習得
【略 歴】 清泉女学院大学

教育学部に赴任しました和田順一です。専門は英語教育です。近年、英語教育を取り巻く状況は大きく変化をしています。教育学部の学生がそれらに対応できるように、色々な方策を持って取り組んでいきたいと思ひます。



学校教育学科 専任講師
安藤 江里 (あんどう えり)

【専門分野】 音楽教育
【略 歴】 東京学芸大学他非常勤講師

音楽関係の科目を担当しています。出身地の松本で教員養成の仕事ができることはこの上ない喜びです。音楽を通して人と触れ合い共鳴する素晴らしさを実感できるよう、様々な活動を提案していききたいと思ひます。



学校教育学科 専任講師
佐藤 茂太郎 (さとう しげたろう)

【専門分野】 小学校教育／算数教育
【略 歴】 公立小学校教諭

算数・数学教育を中心に学生に指導して参ります。これまでの、現場の経験を生かして「現場で活躍する教師」の育成に最大限力を尽くして参ります。多方面に渡りお世話になりますが、どうぞよろしくお願ひ致します。



学校教育学科 専任講師
内藤 千尋 (ないとう ちひろ)

【専門分野】 特別支援教育／特別ニーズ教育／発達障害
【略 歴】 白梅学園大学こども学部助教

専門分野は特別支援教育です。「発達障害等の発達上に課題を有する非行少年」に関する研究に取り組んでおります。多様なニーズを有する子どもの「声」や発達支援について、学生の皆さんと共に考えていきたいです。

人間健康学部 健康栄養学科長 就任



健康栄養学科長／教授
木藤 伸夫 (きどう のぶお)

【専門分野】 微生物学
【略 歴】 名古屋大学理学部准教授

今年度より、廣田先生よりバトンを受け学科長に就任しました。松本大学や健康栄養学科を取り巻く状況は、大きく変わりつつあります。新しく導入した4コース制などの取り組みを進め、これまで以上に「食」を通して地域の健康づくりに貢献できる人材の育成に努めたいと思ひます。

総合経営学部 観光ホスピタリティ学科 就任



観光ホスピタリティ学科 専任講師
今村 篤史 (いまむら あつし)

【専門分野】 社会福祉／民俗・文化
【略 歴】 白梅学園短期大学

松本という自然、歴史、文化の豊かさに溢れた土地で働けることを大変嬉しく思っております。学生の皆さんが充実した学生生活を送ることができるよう職務に取り組んでいきたいと思ひます。

人間健康学部 健康栄養学科 就任



健康栄養学科 専任講師
長谷川 尋之 (はせがわ ひろゆき)

【専門分野】 運動栄養学
【略 歴】 フリーランスのスポーツ栄養士

健康栄養学科の応用栄養学領域の専任講師として着任致しました。専門分野の運動栄養学を活かし、健康栄養学科の枠にとらわれずスポーツ健康学科、人間健康学部の「食」を盛り上げたいと思ひます。

人間健康学部 スポーツ健康学科 就任



スポーツ健康学科 准教授
山本 薫 (やまもと かおる)

【専門分野】 運動生理学／健康体力科学／運動処方
【略 歴】 名城大学人間健康学部スポーツ健康学科准教授

前任地の沖縄から松本への移住は、現長寿日本一県の秘密に触れることが楽しみです。更に身体活動で健康寿命も日本一になることを目指し皆様と共に地域貢献を頑張りたいと考えます。今後共どうぞ宜しくお願いします。

教育学部 教職支援センター 就任



教職支援センター 相談員
石井 良治 (いしい りょうじ)

教師を目指す学生の実務に関わる相談に応じ、支援します。現場の児童生徒たちの期待に応えられる“先生”になれるよう「学修」「人」「体験」に学び、一緒に考え、一つ一つ積み上げていきます。



教職支援センター 相談員
高山 雪 (たかやま せつ)

学校ボランティア、学校インターンシップ、教育実習等、大学と小・中学校のつなぎ役です。また、教員を目指す学生さんの資質向上に向けてお手伝いします。専門教科は音楽で、合唱指揮やピアノ弾き語りが趣味です。

研究室紹介

松商短期大学部 教授
藤波 大三郎

金融資産はどう運用されるべきか 銀行勤務の経験から研究続ける

私の専門分野は金融論です。その中でも銀行と資産運用を主に研究しています。銀行に約25年勤務していた経験があり、その中でバブル時代の放漫な融資活動、そしてそれから生じた不良債権の問題を現場で見してきました。そうしたことがなぜ起こったのか、また、これからの金融の仕組みはどうあればよいのか、そして、個人の金融資産はどのように運用されるべきか、といったことを研究しており、最近は企業金融(コーポレート・ファイナンス)についても研究しています。

資産運用や企業金融はいわゆる金融数学を使うことも多く、私も40歳代になって資格学校へ通って勉強し直しました。最近はどうした資産運用の知識が広く普及することがわが国の金融システムにとって大切であると考え、やさしい投資教育図書を執筆しています。

講義では「金融スペシャリスト・プログラム」と呼ばれる科目群の中で、ファイナンシャル・プランナーの育成、個人金融知識の普及を目指しています。高度経済成長を成し遂げた戦後の時代から、低成長の平成の時代へと変わり、これからも高度経済成長は望めない中、個々人が自分の資産運用やライフプランを考えて行動するべき時代となっており、金融知識の一層の普及が必要と感じています。

ゼミでは金融税務や金融法務を学び、就職に役立ててもらおうよ



にしています。とはいえ多くの学生は一般企業に就職するため、社会人として知っておいて欲しい項目を中心に講義を進めています。また、銀行業務の現場では雑談等の日常的なコミュニケーション力の低い人が多くて問題になっていることもあり、齋藤孝明治大学教授の『雑談力の上がる話し方』をテキストとしてコミュニケーション練習も行っています。金融商品という目に見えない商品を扱うにはコミュニケーション力が重要になると考えています。

東京大学法学部卒。太陽神戸銀行入行、ルクセンブルグさくら銀行、さくら能力開発センター、三井住友銀行人事部研修所等を経て現職。法学士。【専門分野】金融論/銀行論/資産運用論【研究課題】銀行システム/個人の金融資産運用/企業金融

大学院生が国際学会で研究発表

健康科学研究科 准教授 河野 史倫

5月21日～23日にスウェーデンのヨーテボリで国際学会Cell Symposia : Exercise Metabolismが開催され、私と、健康科学研究科2年・増澤諒君が参加しました。運動による代謝の変化がどのように糖尿病や肥満などを改善するのか、そのメカニズムやヒト個体における複雑さを解き明かすため

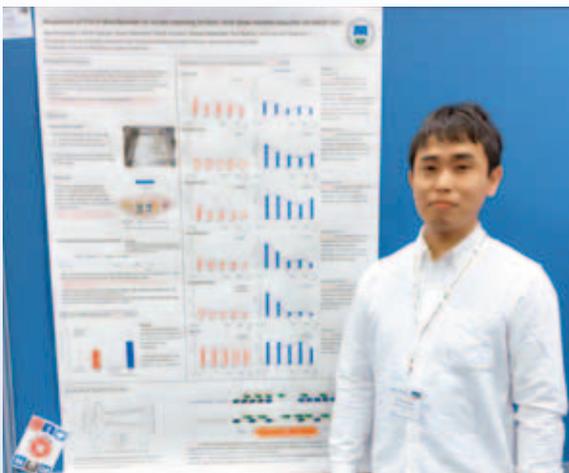
の研究交流・議論を行うことを目的とした学会です。今回が2度目の開催ということで、まだ始まって間もない学会ですが、運動効果のメカニズムを解明することが世界的にもどれだけ求められ、かつタイムリーな話題なのか想像できます。招待講演者はいずれも同分野で世界の最先端にいる研究者であり、間もなく論文として公表される研究結果や未発表データなども混ぜながら、非常に貴重な知識を得ることができました。いずれはスタンダードになるであろう運動生理学の新しい理論に早期に触れることができるのは、国際学会に参加する1番のメリットだと思います。

増澤君は、「Response of Pol II distribution to acute running in fast- and slow-twitch muscle



of adult rats(速筋・遅筋における運動後のRNAポリメラーゼ分布の変化)」というタイトルでポスター発表を行いました。骨格筋はパワーのある速筋とエネルギー代謝の高い遅筋に分類できますが、運動によって同じように遺伝子発現が高まる場合でもその転写の起こり方は速筋と遅筋で異なるという内容です。この研究は増澤君の修士論文のテーマでもあり、運動習慣などによって骨格筋が遅筋タイプに変わっていくメリットは何なのか?という疑問にひとつの答えを出すことができる研究です。

国際学会での発表を初めて経験した増澤君は、「この研究分野の世界の動向とその最先端の知見を得ることができ、世界の研究者と国際的な交流ができたことは自信になり、今後の課題を見つける良い機会になりました」と感想を述べていました。



教員が研究成果を発表 活発な議論

～平成28年度研究発表会開催～

3月1日、2日の2日間、平成28年度松本大学研究発表会が開催されました。この発表会は研究推進委員会が主催し、学内競争的研究資金の支援を受けた研究を中心に、教員が日頃の研究成果を発表・討論する研鑽の場です。



今年は地域に関する研究1件、学術研究16件、萌芽的研究2件、教育に関する研究1件で総計20件の発表がありました。昨年は2部屋に分かれパレルセッションで開催したのですが、聞けない講演があり残念だという声をうけ、今年ではできるだけ多くの発表を聞けるようにシングルセッションとしました。そのため、例年と比べて長時間にわたる発表会となりましたが、皆様のご協力のおかげで、活発な議論が時間いっぱい繰り広げられました。

近年、社会の大学に対する期待は多岐にわたり、特色のある教育や地域貢献が特にライトアップされ、昔の“象牙の塔”のようなイメージはなくなってきましたが、研究は高等教育機関である大学に固有の重要な使命です。教育学部が加わった平成29年度は、これまで以上に幅広い分野にわたる教員による研究成果発表がなされることと期待しています。
(平成28年度研究推進委員会 委員長 室谷 心)

発表内容一覧

| 研究課題 | 発表者 |
|--|-------|
| ライフステージを通じた健康づくりを推進するための調査研究と活動およびネットワークの構築 ～男性長寿の松川村における男性高齢者と男子中学生の1日当たりの栄養素等摂取量の比較～ | 廣田 直子 |
| 加熱調理の均質化 一揚げ調理一 | 石原 三妃 |
| 食物アレルギー患者への災害支援としてのバックアップの可能性 | 沖嶋 直子 |
| インスリンによる血糖調節機構の解析(共同研究支援補助金研究) | 山田 一哉 |
| 抗糖尿病効果を有する非栄養素の検索と分子機構の解析 | 高木 勝広 |
| 時計遺伝子と長寿遺伝子の発現相関は、糖代謝調節に関わるか? | 浅野 公介 |
| アクセラレーション刺激による筋機能維持効果の検討 | 河野 史倫 |
| 異世代における健康行動の実施要因 一主観的解釈に着目した文献的考察一 | 熊谷 麻紀 |
| 文化・生活・教育-乳幼児の発達について考える | 藤枝 充子 |
| 非対称情報のあるサプライチェーンマネジメントに関する研究 | 田中 正敏 |
| TPP時代における地域活性化のための農畜産物の輸出拡大戦略の構築 | 成 善政 |
| 第一原理計算による数値的アプローチで量子色力学のヒッグスモードを探る | 室谷 心 |
| 食餌中脂質がショウジョウバエの寿命、行動、老化に与える影響と脂肪酸毒性 | 木藤 伸夫 |
| 日中における幼児の運動能力と土踏まず形成及び足趾圧の国際比較調査 | 中島 弘毅 |
| サッカー審判員の判定に関する心理学的考察 | 齋藤 茂 |
| タイトル区の実施過程に関する研究 一トランスジェンダー競技者に関する指針に焦点をあてて一 | 新井喜代加 |
| 対人関係ゲームによる学級集団づくりが不登校の発生抑制に及ぼす影響 | 岸田 幸弘 |
| 複合施設における機能連携と図書館環境の在り方 | 伊東 直登 |
| 道の駅中条を拠点とした地域活性化について | 清水 聡子 |
| 地域における実践的マーケティング活動とその教育効果 | 金子 能呼 |

平成29年度 科学研究助成事業に採択されている本学教員の研究

インスリン誘導性転写因子の作用機序と食餌と病態による遺伝子発現制御

大学院 健康科学研究科 山田 一哉 教授 ○期間:平成29年度～平成31年度

発達障害等の発達困難を有する非行少年の現状と地域生活移行支援に関する調査研究

教育学部 学校教育学科 内藤 千尋 専任講師 ○期間:平成29年度～平成31年度

ダウンサイジング下の新たな教育のガバナンスとコミュニティの生成に関する総合的研究

教育学部 学校教育学科 武者 一弘 教授 ○期間:平成26年度～平成29年度

食を伝える新しい異世代間地域ネットワークづくりのための参加型アクションリサーチ

大学院 健康科学研究科 廣田 直子 教授 ○期間:平成27年度～平成29年度

地域企業における国内・外事業の関連性にかかる研究

総合経営学部 総合経営学科 兼村 智也 教授 ○期間:平成26年度～平成29年度

宇宙滞在の影響を受けにくい体質をつくるための新規エピジェネティクス理論確立

大学院 健康科学研究科 河野 史倫 准教授 ○平成28年度～平成29年度

運動効果獲得の個体差を理解するための骨格筋エピジェネティクス研究

大学院 健康科学研究科 河野 史倫 准教授 ○平成28年度～平成31年度

地域社会での看取りはいかにして可能かーイタリアをフィールドとして

大学院 健康科学研究科 福島 智子 准教授 ○期間:平成28年度～平成30年度

ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～ KAKENHI

「自分の遺伝子型を調べてみよう～2017～」参加者募集

唾液から遺伝子(DNA)を取り出して、「お酒に強いかわ弱いかわ」「基礎代謝が低いかわ高いかわ(太りやすいかわ否かわ)」「短距離走者型かどうか」を判定します。3種類の遺伝子型と環境要因の関係に関する講演や各実験室の案内と機器の説明(ラボ探検)もあります。

※本プログラムは、日本学術振興会の事業の一環で開催します。

日時:平成29年8月26日(土) 9時30分～16時
会場:松本大学
担当教員:大学院健康科学研究科 教授 高木 勝広
対象:高校生20名(先着順)

受講料無料
昼食つき

参加者氏名・学校名・学年・性別・連絡先住所・電話番号、調べてみたい項目1つを記載し、ハガキ、FAX、または電子メールで下記までお申し込みください。
8月22日(火)必着。(学校で参加の場合は、代表者氏名・参加人数・住所・電話番号を明記)

【申込先】松本大学・総務課(担当:上野田)

Email:noriko.uenoda@matsu.ac.jp Tel:0263-48-7200(代表) Fax:0263-48-7290 住所:〒390-1295 松本市新村2095-1

教育学部が「南極」ブースを設けます

学校教育学科 准教授 澤柿 教淳

7月15、16日の2日間、松本大学を会場に開催される「2017まつもと広域ものづくりフェア」に、教育学部理科教育研究室が初参画します。テーマは「南極」。今年は、第一次日本南極地域観測隊が昭和基地での観測を始めてからちょうど60年に当たる年です。

私は第54次夏隊に同行し、約4カ月間、観測活動や設営作業に携わりました。砕氷船「しらせ」が新調されたのを機に、教育関



氷河上で活動する観測隊員。氷河の動く速度を計測し温暖化の影響を探る



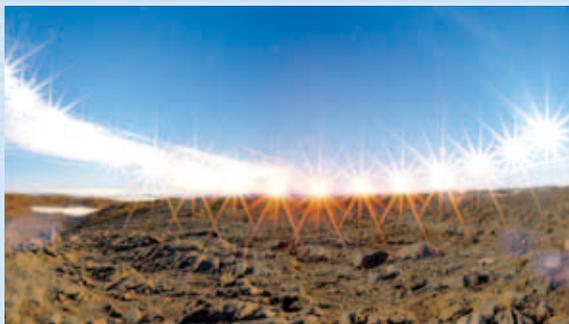
南極の氷

係者も南極に派遣し、次代を担う子どもたちに極域研究の意義等を分かりやすく伝えていこうということになったのです。謎の生物コケボウズの採集、無人航空機で高度5,000mの空気を持ち帰る試みの失敗と成功、アザラシのミイラとの遭遇、分厚い海水に昭和基地接岸を阻まれた「しらせ」、龍のごとく激しく舞うオーロラ爆発。私自身、子どもの頃に心に焼き付けられた昭和基地に降り立って、多くの感動と不思議に出会いました。

近い将来、子どもたちも南極に行く時がやってくるのではないのでしょうか。私は、純粋な子どもの時だからこそ、むき出しの地球の姿に学べるものがたくさんあるはずだと考え



アザラシのミイラ。極度の低温と乾燥でこの状態が保たれる



沈まぬ太陽。南極の夏は太陽が地平線に沈まず、再び昇る

ています。現在、私たちは南極観測にかかわる事象を対象にした教材を開発したいと考えているところです。

教育学部の南極ブースでは、まるで別の惑星に来たかのような光景と、そこで展開されている研究活動の様子に迫力の映像で迫る「南極VIDEOシアター」、南極の氷と冷蔵庫の氷を比べたり、ペンギン歩行ロボットを作ったりする「南極体験コーナー」を設けます。観察や工作を通して実際に南極に降り立った気分を味わってほしいと思います。



ペンギン歩行ロボット

松本大学松商短期大学部 APフォーラムを開催



大学教育再生加速プログラム

松商短期大学部は昨年度、文部科学省の補助事業「大学教育再生加速プログラム(AP)」に採択されました。そこで、「地域が求める人材育成を目指して」を共通テーマに、今年度3回のAPフォーラムを開催し、わが国の教育改革について考えます。

共通テーマ：地域が求める人材育成を目指して

〈第1回APフォーラム〉

テーマ：高等教育の質保証とAPの取り組み

【日時】7/29(土) 14:00～17:00

【会場】松本大学232教室

【内容】基調講演(文部科学省)、事例報告、パネルディスカッション ほか

【参加費】無料

【参加申込み方法】参加ご希望の方は

①氏名、②所属、③役職、④連絡先(電話番号またはメールアドレス)を明記の上、7月25日(火)までにメールでお申込みください。

【申込み先】松本大学教務課(担当:丸山・市川・清水)

TEL.0263-48-7204 FAX.0263-48-7290

E-mail:kyoumu@matsu.ac.jp

〈第2回APフォーラム〉

テーマ：教育手法の改善とその評価

日時：平成29年9月12日(火)

13:00～16:00

会場：松本大学514教室

〈第3回APフォーラム〉

テーマ：グローバル人材育成(仮)

日時：平成30年3月1日(木) 予定

会場：松本大学

『開かれた学校づくり』全国交流集会in松本を開催

2017年9月に松本大学を会場に、「第18回『開かれた学校づくり』全国交流集会in松本(実行委員会主催/松本市教員委員会後援)」を開催します。2000年に第1回目を開催以来、子どもたちを中心において、子ども・教職員・保護者・住民が参加し共同する開かれた学校づくり、地域の教育づくりに取り組んできました。これらの取り組みは少しずつ広がりを見せ、実績を重ねてきましたが、一方でこの間、今日の子育てと教育をめぐる現実は一層厳しいものがあると言わねばならない状況が発生しています。

このたび、開かれた学校づくりの先進県といわれる信州において、全国から多数の高校生や学校関係者を迎えて、全国交流集会を開催する運びとなりました。大会実行委員一同、開かれた学校づくりの実践の有益な交流の機会としたいと願っています。

(大会実行委員長 学校教育学科 武者 一弘)

【日時】9/17(日)・18(祝)

【会場】松本大学5号館(9月17日)、8号館(9月18日)

【内容】全体集会(基調講演、シンポジウム)、分科会(高校生による実践交流会、教職員による実践交流会、教職員や住民や研究者による研究交流会)等

【参加費(資料代)】高校生以下無料、一般500円、教職員・研究者1000円

【問い合わせ先】kazuhiro.musha@t.matsu.ac.jp(武者)

メールをお願いします。

地域の健康づくりを支援する 地域健康支援ステーション

地域健康支援ステーションでは、地域からの依頼を受けて健康づくりの支援やメニュー提案など実践的な活動を行っています。最近の活動をご紹介します。

管理栄養士スタッフ 飯澤 裕美
健康運動指導士スタッフ 赤津 恵子

プロの料理人と学生がコラボレーション! 松本東急 REI ホテルで「一日限りのレストラン」再現

2007年の人間健康学部開設以来、健康栄養学科で開催し、昨年度で10回目を迎えた「一日限りのレストラン」。近年では、給食経営管理分野の教員の指導のもと、メニュー開発・調理・サービスなどの企画運営を全て学生が行い、毎回、驚きや発見のある内容を心がけています。また地元食材を使用した料理を提供することで、地域活性化につなげることも目的としています。

今回、松本東急REIホテルとのコラボレーションで、昨年9月に大学で実施した「一日限りのレストラン」のコース料理「おもてなしフレンチ～ちょこっと信州～」を再現するイベントを、3月20日に開催しました。学生の思いが込められたメニューが、ホテルの野田真一料理長によるプロのアレンジで

洗練された料理に生まれ変わり、レストラン「シャングリ・ラ」において地域の方々に提供されました。信州サーモンや松本一本ねぎなど地元の食材を使った、学生の斬新なアイデアが最大限に生かされたメニューであり、ランチ、ディナーの提供で予定数各60食が完売となり、予約時にお断りさせていただいたお客様も少なくなかったようです。

イベント当日は学生有志がサービススタッフとして参加することになり、事前の学生対象のサービス研修会でホテルのスタッフの方に笑顔やお辞儀、スマートな給



仕の方法などを指導していただきました。

召しあがっていただいた方々には、信州の食材を堪能できる料理を楽しんでいただけたようでした。また学生は事前研修で学んだことを生かしながら接客し、お客様からの質問にも丁寧に対応していました。

参加した学生からは、「アルバイトで給仕や接客には慣れていましたが、レストラン特有のマナーなど緊張感があり新鮮な体験だった」「このイベントで学んだことを、自分たちで開催する『一日限りのレストラン』で生かしたい」との声が聞かれました。



認知症予防のための運動を実践

4月21日、JRみどり湖駅近くの峰原公民館で、高齢者を対象に認知症予防をテーマにした運動指導を行いました。このような社会的イベントに参加することで自体がすでに認知症を遠ざけていることとお話し、さらに今後いつでも取り組める、脳を使いながら運動する二重課題をいろいろ試していただきました。ラダー（はしごの形をしたひも）の代わりに座布団を使い、決められたステップ数の中である数字の時だけ足を座布団の外に出す歩き方や、「しりとりにステップ」では前の人の言った言葉を復唱してから自分の言葉をいうスタイルのステップを実践しました。参加者からは「なかなか難しいが楽しい」「家に帰ったら家族でやってみよう」等の感想をいただきました。



体力アップのための早歩きの速さとは？体験教室

宮田村公民館から村民を対象に速歩の方法について指導してほしいと依頼され、5月13日、20日の2回にわたって実施しました。

はじめに、「有酸素性運動と無酸素性運動の境目で速歩を実行するとなぜ体力アップにつながるのか」という話をし、体力アップを目指すための理論値を「普通歩きの距離」「安静時の脈拍」から方程式を使って参加者それぞれで割り出しました。その後、ペアでストレッチングをしてから、正しい姿勢と歩き方をマスターした後、実際に理論値に近づけるよう歩いてもらいました。ペアを組んだ相手の歩行距離、脈拍など忘れないうちに記録します。参加した学生もペアに組み入れられ活躍しました。

速歩時の速度を割り出す他の方法として、「『ややきつ』と感じる速度で歩く」というものがあります。これは体力は個人で差があるため、自分の感覚だけを頼りにする「自覚的運動強度」を用いたものです。最後に、みなさんに実践値と理論値を比較してもらい「もっとゆっくりでいいんだ」とか「もっと早く歩かない」という感覚をつかんでもらうことができました。学生からは「現場で多くの学びを得ることができた」との声が聞かれ、参加者からは「普通歩きではなく時々速歩というものが体力アップにつながることを初めて知った」「これから熱心に取り組みたい」等の感想をいただきました。



皆さまのお近くで、学生や専門スタッフ（管理栄養士・健康運動指導士）が
お手伝いできることがありましたら、是非お声をかけてください。

卒業生の進路

平成28年度の就職内定率(就職希望者に対する内定者の割合)は、大学・短大全体で99.3%と昨年度をさらに上回る良い結果となりました。今後も学部学科とキャリアセンター、さらに企業とも連携し、充実した就職支援を行ってまいります。

各学部の卒業生の進路状況についてまとめます。

総合経営学部

学生一人ひとりの状況に合わせた就職支援の成果

平成28年度、日本経済は緩やかな回復基調が続きましたが、海外要因などのリスクも高まった一年でした。雇用市場は回復局面をみせる中で、本学部卒業生の就職内定率は98.8%で、昨年に引き続き、きわめて良い結果となりました。特に、このような結果はキャリアセンターと学部教員総員のコラボで、就活生一人ひとりに対するよりきめ細かな支援の結果であると自負しています。また、活力ある地域社会の創造に貢献しうる人材を育成するという本学部の教育研究の目的に基づき、地域の皆様のニーズに応えるかたちで、さまざまな業種に就職することができました。

(平成28年度就職委員会総合経営学部主任 成 善政)

人間健康学部

専門職種に加え多様化する就職先

平成28年度、本学部卒業生の就職内定率は99.4%(健康栄養学科100%、スポーツ健康学科98.8%)と継続して高い数字を維持しています。近年、健康栄養学科では、従来の専門職種(医療現場やサービス業における栄養士・管理栄養士)に加えて、ドラッグストア等における栄養指導や健康指導に関わるニーズが高まっており、卸売・小売業への就職が増加しています。また、スポーツ健康学科では、専門職種(運動指導・医療福祉分野、及び教員等)に加えて、金融業界や公務員等の実績も徐々に増えており、より多様な進路が獲得できるようになってきています。

(平成28年度就職委員会人間健康学部主任 齊藤 茂)

松商短期大学部

雇用環境の良さを反映 幅広い業界に就職

松商短期大学部では、平成28年度卒業生の就職内定率が100%となり、失業率・有効求人倍率の改善等バブル期並みの雇用環境の良さを十分に反映した結果となりました。就職先の業種については、卸売・小売業に46名、製造業に29名、金融・保険に20名、そしてJA・日本郵政に11名などと幅広い業界となっています。学生の努力はもちろんのこと、キャリアセンターやゼミの教員による手厚い個別指導が今年度の結果に結びついたと思います。卒業生の活躍に期待しています。

(平成28年度短期大学部就職委員 藤波 大三郎)

大学院 健康科学研究科

就職、研究継続それぞれの道へ

健康科学研究科を、今春4名の院生が修了しました。3名は就職(マイクロストーン株式会社、タカヤマケミカル株式会社、ゴールドパック株式会社)し、1名は研究機関(筑波大学大学院博士課程研究生)でさらに研究を継続することになりました。彼らの今後の活躍に期待しています。(平成28年度大学院就職委員 根本 賢一)

総合経営学部

| 進路別 | 計 |
|--------|-----|
| 就職 | 158 |
| 進学 | 3 |
| 進路未決定 | 2 |
| 家居・その他 | 17 |
| 合計 | 180 |

▼総合経営学科就職先一覧

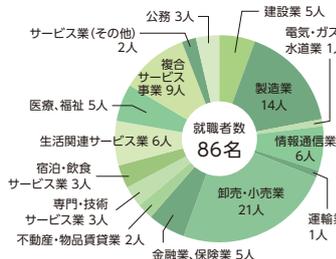
| 産業分類 | 企業名 | 計 |
|--------------|-------------------|----|
| 建設 | ㈱角藤 | 1 |
| | 中信アスナ㈱ | 1 |
| | 松田・商信㈱ | 2 |
| | ㈱村瀬組 | 1 |
| 製造 | ㈱グルメデリカ | 1 |
| | ㈱ヤツレン | 1 |
| | 日本プラパレット㈱ | 1 |
| | ㈱タグ技研 | 1 |
| | ㈱ハイライト | 1 |
| | ㈱関一精機 | 1 |
| | ㈱日邦パルプ | 1 |
| | マルヤス機械㈱ | 1 |
| | ㈱ライト光機製作所 | 1 |
| | 三協精密㈱ | 1 |
| | 山洋電気デジタルサービス㈱ | 2 |
| 販売・流通 | 信州吉野電機㈱ | 1 |
| | 日本ミクロン㈱ | 1 |
| | サンリン㈱ | 1 |
| | ㈱SEO | 2 |
| | キッセイコムテック㈱ | 1 |
| | 行政システム㈱ | 1 |
| | ㈱サイビス | 1 |
| | 東京コンピュータサービス㈱ | 1 |
| | アルピコ交通㈱ | 1 |
| | ㈱越前屋 | 1 |
| 卸売・小売 | ㈱エラン | 1 |
| | 昭和電機産業㈱ | 1 |
| | ㈱シンケン | 1 |
| | ㈱タック | 1 |
| | トライアン㈱ | 1 |
| | パルコスモ㈱ | 1 |
| | ㈱マツザツ | 1 |
| | ㈱本久 | 1 |
| | ㈱井上 | 1 |
| | ㈱デリシア | 2 |
| | ㈱東京インテリア家具 | 1 |
| | 長野ダイハツ販売㈱ | 1 |
| | 長野日産自動車㈱ | 1 |
| はるやま商事㈱ | 1 | |
| ㈱モリキ | 1 | |
| ㈱ロイヤルオートサービス | 2 | |
| ㈱福半ホームエイド | 2 | |
| 金融・保険 | 甲府信用金庫 | 1 |
| | ㈱長野銀行 | 1 |
| | ㈱みずほ銀行 | 1 |
| | ㈱ゆうちょ銀行 | 1 |
| 不動産・物品賃貸 | 損保ジャパン日本興亜保険サービス㈱ | 1 |
| | ㈱デンタパバンク | 1 |
| | ㈱アクト | 1 |
| 専門・技術サービス | アットホーム㈱ | 2 |
| | ㈱ヴィーヴ | 1 |
| 宿泊・飲食サービス | ㈱上越観光開発 | 1 |
| | ㈱松花 | 1 |
| 生活関連サービス | 炭火焼鳥扇房河内屋 | 1 |
| | ㈱ツエル | 1 |
| | ㈱三公商事 | 1 |
| | ㈱G-style | 1 |
| 医療・福祉 | ㈱ダスキン諏訪 | 2 |
| | ㈱長野エコーサプライ | 1 |
| | 栗田病院 | 1 |
| 複合サービス事業 | JA長野厚生連北信総合病院 | 1 |
| | 社会医療法人抱生会丸の内病院 | 2 |
| | 社会福祉法人長野県社会福祉事業団 | 1 |
| | グリーン長野農業協同組合 | 2 |
| サービス(その他) | 信州諏訪農業協同組合 | 1 |
| | 日本郵便㈱ | 2 |
| 公務 | 松本ハイランド農業協同組合 | 4 |
| | ㈱アスパーク | 1 |
| | ㈱山田商会 | 1 |
| | 長野県警察 | 2 |
| | 山形村役場 | 1 |
| 計 | | 86 |

進学先一覧

| 進学 | 学校名 | 計 |
|----|-----------|---|
| 進学 | 上越教育大学大学院 | 1 |
| 計 | | 1 |

総合経営学科

■就職先の業種別人数



就職内定率
98.8%

(就職内定者158人/就職希望者160人)

▼観光ホスピタリティ学科就職先一覧

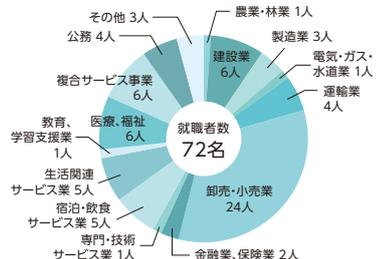
| 産業分類 | 企業名 | 計 |
|---------------|-----------------------|----|
| 農林・林業 | (有)天電造園 | 1 |
| | ㈱オオサワホーム | 1 |
| | セキスイハイム信越㈱ | 1 |
| 建設 | 中信アスナ㈱ | 1 |
| | ㈱東城組 | 1 |
| 製造 | 光葉スチール㈱ | 1 |
| | ㈱栄光製作所 | 1 |
| 観光・流通 | 吉田工業㈱ | 1 |
| | サンリン㈱ | 1 |
| 運輸 | 国際自動車㈱ | 1 |
| | 東日本旅客鉄道㈱ | 1 |
| | みずほ運輸(有) | 1 |
| | ヤマト運輸㈱ | 1 |
| | ヤマト運輸㈱ | 1 |
| 卸売・小売 | 昭和電機産業㈱ | 2 |
| | 炭平コーポレーション㈱ | 1 |
| | (有)スリーサンクス | 1 |
| | トライアン㈱ | 1 |
| | 中日本メディアリンク㈱ | 1 |
| | 中野商事㈱ | 1 |
| | 錦林㈱ | 1 |
| | パナソニック㈱エレクトロニクス | 1 |
| | プリズンスタイヤ信州販売㈱ | 1 |
| | プリズンスタイヤ長野販売㈱ | 2 |
| 渡辺パイプ㈱ | 1 | |
| イオンリテール㈱(嘱託) | 1 | |
| ウエルシア薬局㈱ | 1 | |
| ㈱甲信マツダ | 1 | |
| ㈱興和クワイ | 1 | |
| ㈱スズキ自動車販売 | 1 | |
| ゼビオ㈱ | 1 | |
| ㈱デリシア | 2 | |
| 長野ダイハツ販売㈱ | 1 | |
| マックスパルコ長野㈱ | 1 | |
| ヨコサインターナショナル㈱ | 1 | |
| 金融・保険 | ㈱八十二銀行 | 1 |
| | 松本信用金庫 | 1 |
| 観光・流通 | ㈱トココンホールディングス | 1 |
| | ㈱池の平ホテル&リゾート | 1 |
| 宿泊・飲食サービス | HRTニューオータニ㈱ | 1 |
| | 合資会社親湯温泉 | 1 |
| | 東急リゾートサービス㈱ | 1 |
| 生活関連サービス | ㈱藤屋 | 1 |
| | ㈱アステップ信州 | 1 |
| 観光・流通 | 共和観光㈱ | 2 |
| | 東武トップツアーズ㈱ | 1 |
| | ㈱新潟アルビレックス・ベースボール・クラブ | 1 |
| 観光・流通 | 静岡県公立中学校(臨時) | 1 |
| | 社会医療法人城西医療財団城西病院 | 1 |
| 医療・福祉 | 社会福祉法人安曇野市社会福祉協議会 | 1 |
| | 社会福祉法人サン・ビジョン | 1 |
| | ㈱やさしい手 | 1 |
| 複合サービス事業 | 社会福祉法人山形村社会福祉協議会 | 1 |
| | 特定非営利活動法人夢トライ | 1 |
| | あづみ農業協同組合 | 2 |
| 公務 | 信州諏訪農業協同組合 | 1 |
| | 中野市農業協同組合 | 1 |
| | ながの農業協同組合 | 1 |
| その他 | 海上自衛隊 | 1 |
| | 陸上自衛隊 | 1 |
| その他 | 松本市役所(嘱託) | 1 |
| | 松本市地域づくりインターン | 3 |
| 計 | | 72 |

進学先一覧

| 進学 | 学校名 | 計 |
|----|----------|---|
| 進学 | 松本短期大学 | 1 |
| 進学 | 松本看護専門学校 | 1 |
| 計 | | 2 |

観光ホスピタリティ学科

■就職先の業種別人数



人間健康学部

| 進路別 | 計 |
|--------|-----|
| 就職 | 173 |
| 進学 | 4 |
| 進路未決定 | 1 |
| 家居・その他 | 2 |
| 合計 | 180 |

▼健康栄養学科就職先一覧

| 産業分類 | 企業名 | 計 | |
|----------------|------------------|--------------|---|
| 製造 | ㈱アーデン | 1 | |
| | ㈱かね徳 | 1 | |
| | 信州HAM㈱ | 1 | |
| | ㈱デリリーはやしや | 4 | |
| | 長野興産㈱ | 1 | |
| | ㈱日本レストランエンタープライズ | 2 | |
| | ㈱みずずコーポレーション | 1 | |
| | ㈱濃辺製菓 | 1 | |
| | 山洋電気テクノサービス㈱ | 1 | |
| | 日本電熱㈱ | 1 | |
| 運輸 | 東日本旅客鉄道㈱ | 1 | |
| | 丸栄運輸機工㈱ | 1 | |
| 卸売・小売 | ペイクック・コーポレーション㈱ | 1 | |
| | ワエルシア薬局㈱ | 3 | |
| | ㈱オキ | 1 | |
| | ㈱カワチ薬品 | 6 | |
| | ㈱クワリのアオキ | 1 | |
| | 生活協同組合コブながの | 1 | |
| | ㈱ツルハ | 2 | |
| | ㈱ツルヤ | 2 | |
| | ㈱ディーガイア | 1 | |
| | ㈱デザートランドりんごの木 | 1 | |
| ㈱デリシア | 1 | | |
| 金融・保険 | トヨタカローラ南信㈱ | 1 | |
| | マップスバリュ長野㈱ | 1 | |
| | ㈱マツモトキヨシ甲信越販売 | 2 | |
| | ㈱モリキ | 6 | |
| | あいあいニッセイ同和損害保険㈱ | 1 | |
| | 宿泊・飲食サービス | アルプスシヤツ㈱ | 1 |
| | | ㈱池の平ホテル&リゾート | 2 |
| | | ㈱萩野屋 | 1 |
| | | ㈱ココスジャパン | 1 |
| | | ㈱五千尺 | 2 |
| 合資会社親湯温泉 | | 1 | |
| グリーンコーヒージャパン㈱ | | 1 | |
| 日本レクシス㈱ | | 1 | |
| 磐井沢ホテルロッキングハウス | | 1 | |
| ㈱グリーンハウス | | 3 | |
| 生活関連サービス | シダックス㈱ | 1 | |
| | ㈱デリックちくま | 1 | |
| | ㈱デリックちくま | 1 | |
| | 日清医療食品㈱中部支店 | 1 | |
| | 日本ゼネラルフード㈱ | 1 | |
| | ㈱ファーム | 1 | |
| | 富士産業㈱ | 3 | |
| | (有)フレコカゴパニー | 1 | |
| | ㈱ミールケア | 4 | |
| | ㈱メフォス | 3 | |
| 教育・学習支援 | 長野県公立中学校(臨時) | 1 | |
| | 新潟県公立特別支援学校(臨時) | 1 | |
| | 医療法人高徳会 上牧温泉病院 | 1 | |
| | 医療法人社団津嶋会 京葉病院 | 1 | |
| | 医療法人慈光会 甲府城南病院 | 1 | |
| | 社会医療法人中信勤労者医療協会 | 1 | |
| | 戸田中央医療グループ | 1 | |
| | 社会福祉法人聖清会 真清園 | 1 | |
| | 社会福祉法人調訪福祉会 | 1 | |
| | 社会福祉法人平成会 | 1 | |
| 観光・娯楽 | 日本郵便㈱ | 1 | |
| | 計 | 88 | |

進学先一覧

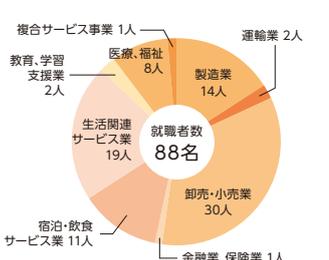
| 学校名 | 計 |
|-------------------|---|
| 健康栄養学科 | |
| 進学 松本大学大学院健康科学研究科 | 2 |
| 計 | 2 |

▼スポーツ健康学科

| 学校名 | 計 |
|--------------|---|
| 進学 上野教育大学大学院 | 1 |
| 信州医療福祉専門学校 | 1 |
| 計 | 2 |

健康栄養学科

■就職先の業種別人数



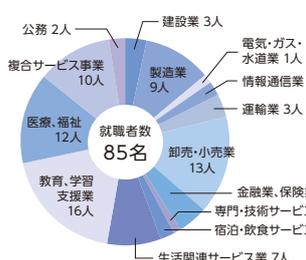
就職内定率
99.4%
(就職内定者173人/就職希望者174人)

▼スポーツ健康学科就職先一覧

| 産業分類 | 企業名 | 計 | |
|--------------|-----------------------|-----------------|---|
| 建設 | ㈱牛木組 | 1 | |
| | ㈱エース・リフォーム | 2 | |
| | ㈱デリリーはやしや | 1 | |
| | ㈱ヤツレン | 1 | |
| | サン工業㈱ | 1 | |
| | 東京特殊電線㈱ | 1 | |
| | 大和電機工業㈱ | 1 | |
| | マイクロストーン㈱ | 1 | |
| | リバーゼメックス㈱ | 1 | |
| | ㈱アイカム | 1 | |
| 製造 | 山洋電気テクノサービス㈱ | 1 | |
| | サンリン㈱ | 1 | |
| | ネクストリンクス㈱ | 1 | |
| | 山梨パナソニックシステム㈱ | 1 | |
| | カリツー㈱ | 1 | |
| | 南信貨物自動車㈱ | 1 | |
| | 東日本旅客鉄道㈱ | 1 | |
| | ㈱小泉中部 | 1 | |
| | 中信商事㈱ | 1 | |
| | サントリービバレッジサービス㈱ | 2 | |
| 卸売・小売 | 南信ヤクト販売㈱ | 2 | |
| | プリダストンタイヤ長野販売㈱ | 1 | |
| | ㈱メディセオ | 1 | |
| | ワエルシア薬局 | 1 | |
| | ㈱杏林堂薬局 | 1 | |
| | ㈱甲信マツダ | 1 | |
| | ㈱スズキ自販長野 | 1 | |
| | ㈱スズキ自販南信 | 1 | |
| | トヨタカローラ南信 | 1 | |
| | アルプス中央信用金庫 | 2 | |
| 金融・保険 | 長野県信用組合 | 1 | |
| | ㈱アルファ・ファイブ | 1 | |
| | ㈱マイナビ | 1 | |
| | 野・旅行 | ㈱藤屋 | 1 |
| | | 東洋観光事業㈱ホテルエナビスタ | 1 |
| | | アメニティーズグループ | 1 |
| | | エステサロン Nagomi | 1 |
| | | ㈱サンクリン甲信越 | 1 |
| | | スポーツアカデミー | 1 |
| | | ㈱東洋 | 1 |
| ㈱日本旅行 | | 1 | |
| ㈱ハイパーフィットネス | | 1 | |
| 伊那自動車教習所グループ | | 1 | |
| 教育・学習支援 | 国立大附属小学校(臨時) | 1 | |
| | 学校法人明照学園徳中(臨時) | 1 | |
| | 千葉県公立教育支援センター(契約) | 1 | |
| | 長野県公立高等学校(臨時) | 2 | |
| | 長野県公立小学校(臨時) | 2 | |
| | 長野県公立中学校(臨時) | 2 | |
| | 学校法人松商学園 | 1 | |
| | 山梨県公立高等学校(臨時) | 1 | |
| | 山梨県公立小学校(臨時) | 1 | |
| | 学校法人信学会 | 4 | |
| 医療・福祉 | 社会医療法人信勤労者医療協会調訪共済病院 | 1 | |
| | 医療法人社団育虎会 | 1 | |
| | 戸田中央医療グループ | 2 | |
| | 社会医療法人中信勤労者医療協会松本協立病院 | 2 | |
| | 社会福祉法人サン・ビジョン | 1 | |
| | 社会福祉法人七つの輪 | 1 | |
| | 社会福祉法人聖岳会 | 1 | |
| | 社会福祉法人平成会 | 1 | |
| | ㈱ほほえみ | 1 | |
| | ㈱やさしい手 | 1 | |
| 複合サービス事業 | あづみ農業協同組合 | 1 | |
| | 信州調訪農業協同組合 | 2 | |
| | ながの農業協同組合 | 1 | |
| | にいがた南蒲農業協同組合 | 1 | |
| | 日本郵便㈱ | 2 | |
| | 松本ハイランド農業協同組合 | 3 | |
| | 環境省関東地方環境事務所(非常勤) | 1 | |
| | 松本市役所 | 1 | |
| | 計 | 85 | |

スポーツ健康学科

■就職先の業種別人数



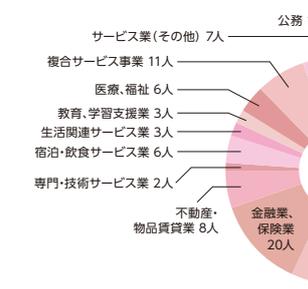
松商短期大学部

| 進路別 | 計 |
|--------|-----|
| 就職 | 156 |
| 進学 | 5 |
| 進路未決定 | 0 |
| 家居・その他 | 8 |
| 合計 | 169 |

▼就職先一覧

| 産業分類 | 企業名 | 計 |
|------------------|------------------|---|
| 建設 | ㈱アスピー | 1 |
| | 鹿島土建㈱ | 1 |
| | セキスイハイム信越㈱ | 1 |
| | 松田・南信㈱ | 1 |
| | 矢木コーポレーション㈱ | 1 |
| | ㈱ブルメダリカ 松本工場 | 1 |
| | ㈱デリリーフーズコーポレーション | 1 |
| | ㈱デリカウェア長野工場 | 2 |
| | 戸田フーズ㈱ | 1 |
| | みずずホールディングス㈱ | 1 |
| 製造 | ㈱小松総合印刷 | 1 |
| | ㈱サイベックコーポレーション | 1 |
| | 太陽工業㈱ | 1 |
| | 東北テクノロジ㈱ | 2 |
| | (有)松澤製作所 | 1 |
| | 大和電機工業㈱ | 1 |
| | 赤田工業㈱ | 1 |
| | ㈱栄光製作所 | 2 |
| | 東洋計器㈱ | 1 |
| | ニッキトライシステム㈱ | 1 |
| 卸売・小売 | パナソニック㈱エレクトロニクス社 | 1 |
| | マルヤス機械㈱ | 3 |
| | 山洋電気テクノサービス㈱ | 1 |
| | ルビコン㈱ | 1 |
| | セイコーエプソン㈱ | 1 |
| | ㈱深井製作所 | 1 |
| | ㈱深井製作所 | 3 |
| | 電気・ガス水道 | 1 |
| | 長野プロパンガス㈱ | 1 |
| | 松本ガス㈱ | 1 |
| 情報通信 | 行政システム㈱ | 1 |
| | TIS長野㈱ | 1 |
| | ㈱テレビ松本ケーブルビジョン | 1 |
| | アルビオン交通㈱ | 1 |
| | 東海西濃運輸㈱ | 1 |
| | 日本通運長野支店 | 1 |
| | ㈱旭機工 | 1 |
| | ㈱エイコー | 1 |
| | ㈱エフケー | 2 |
| | 岡野薬品㈱ | 1 |
| ㈱小泉中部 | 2 | |
| ゴムノイキ㈱ | 1 | |
| ㈱サン工業 | 1 | |
| サントリービバレッジサービス㈱ | 2 | |
| 相馬商事㈱ | 1 | |
| タカヤマミカル㈱ | 1 | |
| 長谷部品長野販売㈱ | 1 | |
| プリダストンタイヤ長野販売㈱ | 2 | |
| 松本ノーサン㈱ | 1 | |
| ㈱一貫堂 | 1 | |
| ㈱伊藤商会 | 1 | |
| ㈱井上 | 1 | |
| ㈱開運堂 | 1 | |
| ㈱クワリのアオキ | 1 | |
| ㈱信濃毎日新聞松本専売所 | 1 | |
| ㈱スズキ自販長野 | 1 | |
| ㈱スズキ自販南信 | 1 | |
| 大北保険業局事業協同組合 | 1 | |
| ㈱ツルハ | 1 | |
| ㈱ツルヤ | 1 | |
| ㈱デリシア | 1 | |
| トヨタカローラ南信 | 3 | |
| ナガノコミュニケーションズ販売㈱ | 3 | |
| 長野ダイハツ販売㈱ | 2 | |
| ㈱長野ダイハツモーターズ | 1 | |
| 長野白自動車㈱ | 1 | |
| ㈱ファイブフォックス | 1 | |
| ペーカリーパワング | 1 | |
| BORDERS | 1 | |
| ㈱ホンダ・ガス長野中央 | 1 | |
| ㈱マツモトキヨシ甲信越販売 | 1 | |
| ㈱ムラサキスポーツ松本店 | 1 | |
| ㈱ロケット | 1 | |
| 卸売・小売 | 1 | |

■就職先の業種別人数



就職内定率
100%
(就職内定者156人/就職希望者156人)

▼就職先一覧

| 産業分類 | 企業名 | 計 |
|-----------------|------------------------|-----|
| 金融・保険 | アルプス中央信用金庫 | 3 |
| | 飯田信用金庫 | 1 |
| | 上田信用金庫 | 1 |
| | 調訪信用金庫 | 2 |
| | 長野カード㈱ | 2 |
| | ㈱長野銀行 | 2 |
| | 長野県信用農業協同組合連合会 | 1 |
| | ㈱北越銀行 | 1 |
| | 松本信用金庫 | 2 |
| | ㈱みずほ銀行 | 2 |
| 不動産・物品賃貸 | あいあいニッセイ同和損害保険㈱ | 1 |
| | 全国共済農業協同組合連合会 長野県本部 | 1 |
| | 損害保険ジャパン(日本興亜)㈱ | 1 |
| | ㈱アピック | 1 |
| | ㈱デンクイババンク | 3 |
| | 信州レジャー・興業 穂高スイングクラブ | 1 |
| | ㈱ミニミニ | 1 |
| | ㈱レントライフ | 2 |
| | 税理士法人あおば会計 | 1 |
| | ㈱フジ技研 | 1 |
| 専門・技術サービス | ㈱屋 | 1 |
| | ㈱萩野屋 | 1 |
| | 合資会社親湯温泉 | 1 |
| | 深志神社 梅風閣 | 1 |
| | ㈱白馬ハイランドホテル | 1 |
| | ひるがみ温泉 | 1 |
| | ㈱アトマン | 1 |
| | ㈱アンジェラックス・プラザシニング | 1 |
| | 穂高カントラリー | 1 |
| | 塩尻市長野町中学校組合立西小野中学校(臨時) | 1 |
| 教育・学習支援 | ㈱伊那自動車教習所 | 1 |
| | ㈱大町自動車教習所 | 1 |
| | 鴨居歯科医院 | 2 |
| | 医療法人聖峰会佐藤病院 | 1 |
| | 望月デンタルクリニック | 1 |
| | 山田歯科医院 | 1 |
| | ㈱日本生科学研究所 | 1 |
| | あづみ農業協同組合 | 1 |
| | 信州調訪農業協同組合 | 2 |
| | ながの農業協同組合 | 2 |
| 複合サービス事業 | 日本郵便㈱ | 1 |
| | 松本市農業協同組合 | 2 |
| | 松本ハイランド農業協同組合 | 3 |
| | 大栄産業㈱ | 1 |
| | デンブスタッフファミリ工 | 1 |
| | 相馬商事㈱ | 1 |
| | 長野県輸出スクラップ事業協同組合 | 1 |
| | 長谷川ホールディングス㈱ | 1 |
| | ㈱フロンティアスピリット | 1 |
| | 一般社団法人 松本市医師会 | 1 |
| ㈱ラポテック・ソリューションズ | 1 | |
| サービス(その他) | 松本市役所(臨時) | 1 |
| | 計 | 156 |

進学先一覧

| 学校名 | 計 |
|----------------|---|
| 松本大学総合経営学部 | 3 |
| 東京経済大学経営学部 | 1 |
| 調訪東京理科大学経営情報学部 | 1 |
| 計 | 5 |

各種検定試験及び 資格取得試験受験状況

本学では、下表のとおり、さまざまな技能検定試験と資格取得試験をサポートしています。土日に行われる試験が多く、受験者にとっては緊張を強いられることとなりますが、一段一段ステップアップしながら頑張してほしいと願っています。また、技能検定試験と資格取得試験には奨励金制度の対象となっている試験もあります。詳しくは、情報センターまでお問い合わせください。

(資格取得支援センター 松尾 淳彦)



| 区分 | 実施回数 | 学部 | 区分 | | | 区分 | 実施回数 | 学部 | 区分 | | | 区分 | 実施回数 | 学部 | 区分 | | |
|------------------------------------|------|-----|------|-------|----------------|---------------------------------|------|-----|------|--------|--------------------------|------------------------------|------|----|------|------|------|
| | | | 受験者数 | 合格者数 | 合格率% | | | | 受験者数 | 合格者数 | 合格率% | | | | 受験者数 | 合格者数 | 合格率% |
| 日商簿記検定試験 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1級 | 年2回 | 短大部 | 1 | 0 | 0.0% | 1級 | 年4回 | 短大部 | 0 | 0 | 0.0% | 宅地建物取引主任者 | | | | | |
| | | 学 部 | 0 | 0 | 0.0% | | | 学 部 | 3 | 0 | 0.0% | | | | | | |
| 2級 | 年3回 | 短大部 | 15 | 3 | 20.0% | 2級 | 年4回 | 短大部 | 0 | 0 | 0.0% | 総合旅行業務取扱管理者試験 | | | | | |
| | | 学 部 | 9 | 1 | 11.1% | | | 学 部 | 17 | 14 | 82.4% | | | | | | |
| 3級 | 年3回 | 短大部 | 195 | 64 | 32.8% | ビジネス文書検定試験 | | | | | | 国内旅行業務取扱管理者試験 | | | | | |
| | | 学 部 | 13 | 7 | 53.8% | | | | | | | | | | | | 短大部 |
| 全経簿記能力検定試験 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1級総合 | 年4回 | 短大部 | - | 11 | - | 2級 | 年2回 | 短大部 | 70 | 59 | 84.3% | 販売士検定試験 | | | | | |
| | | 学 部 | - | 0 | - | | | 学 部 | 1 | 1 | 100.0% | | | | | | 短大部 |
| 1級会計 | 年4回 | 短大部 | 37 | 11 | 29.7% | サービス接客検定試験 | | | | | | 第一種衛生管理者 | | | | | |
| | | 学 部 | 0 | 0 | 0.0% | | | | | | | | | | | | 短大部 |
| 1級工簿 | 年4回 | 短大部 | 32 | 13 | 40.6% | 準1級 | 年2回 | 短大部 | 0 | 0 | 0.0% | 健康運動実践指導者 | | | | | |
| | | 学 部 | 0 | 0 | 0.0% | | | 短大部 | 1 | 1 | 100.0% | | | | | | 短大部 |
| 2級 | 年4回 | 短大部 | 23 | 15 | 65.2% | 2級 | 年2回 | 短大部 | 3 | 2 | 66.7% | 健康運動指導士 | | | | | |
| | | 学 部 | 1 | 0 | 0.0% | | | 短大部 | 0 | 0 | 0.0% | | | | | | 短大部 |
| 3級 | 年4回 | 短大部 | 129 | 122 | 94.6% | 3級 | 年2回 | 短大部 | 0 | 0 | 0.0% | 健康運動実践指導者 | | | | | |
| | | 学 部 | 2 | 0 | 0.0% | | | 短大部 | 0 | 0 | 0.0% | | | | | | 短大部 |
| ITサポート | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 年2回 | 短大部 | - | - | - | 準1級 | 年2回 | 短大部 | 1 | 0 | 0.0% | レクリエーション・インストラクター | | | | | | |
| | 学 部 | - | 2 | - | | | 短大部 | 5 | 0 | 0.0% | | | | | | 短大部 | 10 |
| 基本情報技術者 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 年2回 | 短大部 | - | - | - | 2級 | 年3回 | 短大部 | 10 | 5 | 50.0% | レクリエーション・コーディネーター | | | | | | |
| | 学 部 | - | - | - | | | 短大部 | 219 | 137 | 62.6% | | | | | | 短大部 | 1 |
| 応用情報技術者試験 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 年2回 | 短大部 | - | - | - | 3級 | 年3回 | 短大部 | 1 | 1 | 100.0% | 自然体験活動 (NEAL) 指導者 | | | | | | |
| | 学 部 | - | - | - | | | 短大部 | 15 | 10 | 66.7% | | | | | | 短大部 | 2 |
| 情報処理技能(表計算)検定試験 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 初段 | 年4回 | 短大部 | 26 | 10 | 38.5% | 色彩検定試験 | | | | | | トレーニング指導者 | | | | | |
| | | 学 部 | 0 | 0 | 0.0% | | | | | | | | | | | | 短大部 |
| 1級 | 年4回 | 短大部 | 138 | 93 | 67.4% | 2級 | 年2回 | 短大部 | 1 | 1 | 100.0% | フードスペシャリスト | | | | | |
| | | 学 部 | 85 | 49 | 57.6% | | | 短大部 | 1 | 1 | 100.0% | | | | | | 短大部 |
| 2級 | 年4回 | 短大部 | 149 | 116 | 77.9% | アシスタントブライダルコーディネーターABC検定 | | | | | | 専門(食品開発) | | | | | |
| | | 学 部 | 301 | 244 | 81.1% | | | | | | | | | | | | 短大部 |
| 3級 | 年4回 | 短大部 | 59 | 58 | 98.3% | 3級 | 年2回 | 短大部 | 2 | 1 | 50.0% | 専門(食品流通・サービス) | | | | | |
| | | 学 部 | - | - | - | | | 短大部 | 37 | 7 | 18.9% | | | | | | 短大部 |
| 情報処理技能(データベース)検定試験 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1級 | 年4回 | 短大部 | 19 | 18 | 94.7% | 日本漢字能力検定 | | | | | | 管理栄養士 | | | | | |
| | | 学 部 | 0 | 0 | 0.0% | | | | | | | | | | | | 短大部 |
| 2級 | 年4回 | 短大部 | 64 | 52 | 81.3% | 2級 | 年3回 | 短大部 | 7 | 2 | 28.6% | 栄養士 | | | | | |
| | | 学 部 | 0 | 0 | 0.0% | | | 短大部 | 7 | 5 | 71.4% | | | | | | 短大部 |
| 3級 | 年4回 | 短大部 | 15 | 15 | 100.0% | 医療事務検定試験 | | | | | | 食品衛生管理者・食品衛生監視員(任用資格) | | | | | |
| | | 学 部 | 0 | 0 | 0.0% | | | | | | | | | | | | 短大部 |
| 文書デザイン検定試験 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1級 | 年4回 | 短大部 | 9 | 7 | 77.8% | 保険請求事務技能検定試験(医科) | | | | | | 高等学校教諭 | | | | | |
| | | 学 部 | 1 | 1 | 100.0% | | | | | | | | | | | | 短大部 |
| 2級 | 年4回 | 短大部 | 4 | 2 | 50.0% | 調剤薬局コンピュータ修了試験 | | | | | | 一種(公民) | | | | | |
| | | 学 部 | 0 | 0 | 0.0% | | | | | | | | | | | | 短大部 |
| ホームページ作成検定 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1級 | 年4回 | 短大部 | 48 | 41 | 85.4% | 医療事務コンピュータ能力技能検定試験 | | | | | | 一種(地理歴史) | | | | | |
| | | 学 部 | 25 | 17 | 68.0% | | | | | | | | | | | | 短大部 |
| 2級 | 年4回 | 短大部 | 1 | 1 | 100.0% | ユニバーサルマナー検定 | | | | | | 一種(福祉) | | | | | |
| | | 学 部 | 93 | 86 | 92.5% | | | | | | | | | | | | 短大部 |
| 日本語ワープロ検定試験 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 初段 | 年4回 | 短大部 | 0 | 0 | 0.0% | 福祉住環境コーディネーター | | | | | | 一種(情報) | | | | | |
| | | 学 部 | 0 | 0 | 0.0% | | | | | | | | | | | | 短大部 |
| 1級 | 年4回 | 短大部 | 25 | 7 | 28.0% | 福祉住環境コーディネーター | | | | | | 一種(商業) | | | | | |
| | | 学 部 | 2 | 0 | 0.0% | | | | | | | | | | | | 短大部 |
| 準1級 | 年4回 | 短大部 | 37 | 5 | 13.5% | 介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー) | | | | | | 一種(保健体育) | | | | | |
| | | 学 部 | 0 | 0 | 0.0% | | | | | | | | | | | | 短大部 |
| 2級 | 年4回 | 短大部 | 65 | 33 | 50.8% | 行政書士 | | | | | | 一種(保健) | | | | | |
| | | 学 部 | 23 | 14 | 60.9% | | | | | | | | | | | | 短大部 |
| 準2級 | 年4回 | 短大部 | 63 | 48 | 76.2% | 産業カウンセラー | | | | | | 中学校教諭 | | | | | |
| | | 学 部 | 63 | 45 | 71.4% | | | | | | | | | | | | 短大部 |
| 3級 | 年4回 | 短大部 | 45 | 38 | 84.4% | ファイナンシャル・プランニング | | | | | | 一種(保健) | | | | | |
| | | 学 部 | 16 | 15 | 93.8% | | | | | | | | | | | | 短大部 |
| TOEIC | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 600点以上 | 学 部 | - | 5 | - | 2級総合 | 年3回 | 短大部 | - | 0 | - | 高等学校教諭 | | | | | | |
| Microsoft Office Specialist | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Word | 短大部 | 短大部 | 31 | 31 | 100.0% | 2級学科 | 年3回 | 短大部 | 3 | 0 | 0.0% | 司書教諭 | | | | | |
| | | 学 部 | - | - | - | | | 短大部 | 4 | 2 | 50.0% | | | | | | 短大部 |
| Excel | 短大部 | 短大部 | 84 | 81 | 96.4% | 2級実技 | 年3回 | 短大部 | 3 | 1 | 33.3% | 社会福祉士 | | | | | |
| | | 学 部 | 1 | 1 | 100.0% | | | 短大部 | 4 | 3 | 75.0% | | | | | | 短大部 |
| Powerpoint | 短大部 | 短大部 | 11 | 11 | 100.0% | 3級総合 | 年3回 | 短大部 | - | 5 | - | 学芸員 | | | | | |
| | | 学 部 | - | - | - | | | 短大部 | - | 17 | - | | | | | | 短大部 |
| 産業界向け検定 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 年1回 | 短大部 | 6 | 3 | 50.0% | 産業界向け検定 | | | | | | 図書館司書 | | | | | | |
| | 学 部 | - | - | - | | | | | | | | | | | | 短大部 | 56 |
| 証券外務員 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 年1回 | 短大部 | - | 1 | - | 2級実技 | 年3回 | 短大部 | 52 | 7 | 13.5% | 証券外務員 | | | | | | |
| | 学 部 | - | - | - | | | 短大部 | 56 | 25 | 44.6% | | | | | | 短大部 | - |
| 年3回 | 短大部 | 46 | 5 | 10.9% | 証券外務員 | | | | | | 証券外務員 | | | | | | |
| | 学 部 | - | - | - | | | | | | | | | | | | 短大部 | 56 |

※外部試験については応募者数・受験者数不明のため「-」とし、自己申請による合格者数のみ記載しています。



話と和と輪、想像と創造の空間 地域づくり考房『ゆめ』



地域づくり考房『ゆめ』は、大学での学びを活かして地域と連携し、地域の課題解決に向けた学生の主体的な活動を支援しています。

「◎いただきます!!」学生考案のレシピ クックパッドに連載しています



朝日新聞提供

家庭から出る生ごみのうち約3割は、まだ食べられるのに廃棄されている、食べ残しや使える皮などの「食品ロス」といわれ、全国で

年間312万トン出ていると推計されています(平成27年3月環境省発表)。

松本市ではこうした食品ロスを減らすために、地域づくり考房『ゆめ』の「◎いただきます!!」プロジェクトと協力して昨年度、「もったいないクッキング サンクスレシピ集」を発行しました。このレシピ集が、日本最大の料理レシピ投稿



サイト「クックパッド」の「消費者庁のキッチン」のページに採用されることとなりました。学生が考案した42品のレシピが5月22日から順次掲載されています。

消費者庁の担当者からは、「若い人の視点で作られたレシピで、掲載準備をしながら作ってみたいになった」と太鼓判を押していただきました。また、学生にラジオの出演依頼(文化放送)があったり、小学生向けの教材への掲載依頼があったり、紹介されたレシピの「つくれぼ(クックパッドのユーザーが、料理を作ったことを写真付きで報告する機能)」が掲載されたりと反響を呼んでいます。
(地域づくり考房『ゆめ』課長 臼井 健司)

観客で埋め尽くされた障がい者による演奏会 「Sign」の学生がボランティア

学生プロジェクト「Sign」のメンバーが、5月14日に開かれた楽団「ケ・セラ」の第14回定期演奏会で、昨年に引き続きボランティア活動を行いました。

「Sign」はこれまで、障害と共に生きている人に対する理解を深める活動をしてきました。楽団「ケ・セラ」は結成以来10年以上にわたり、障がい者が地域で自立生活できる社会の実現を図るために、音楽活動や芸術活動を行ってきました。言い換えれば、「Sign」の活動を、

障がい者が自ら取り組んでいることとなります。今回の定期演奏会は、チケット入場者数428名、チケット不要で入場した子どもたちを合わせると約600名のお客様を迎えるという過去最大のものでした。

学生は、受付ロビー会場のセッティング、プログラムを含む配付資料綴じ込み、受付等を行いました。楽団ケ・セラの演奏が始まると、学生たちは会場で鑑賞をさせていただきましたが、昨年以上に観客で埋め尽くされた会場の「熱気」とその「景色」に感動していました。楽団のメンバーが、音楽を通じてたくさんの人達に自分たちの姿を知って



もらうことの勇氣と、音楽を通じて会場と一体になっていく姿に触れ、障害の有無にかかわらず、ひとつの「音楽

イベント」として捉えることができたのではないかと思います。「また、来年も活動に参加したい」という学生の言葉には、楽団ケ・セラを応援したい気持ちと、演奏会の成長を期待する気持ちが表れていました。
(地域づくり考房『ゆめ』運営委員長 廣瀬 豊)

「ええじゃん栄村」プロジェクト 栄村副村長らと懇談

5月13日に「ええじゃん栄村」プロジェクトの3役が栄村役場を訪れ、これまでの活動報告と今後の活動を模索するための懇談を、森重俊幸副村長、斎藤和幸特命対策課長、社会福祉協議会の広瀬義昭氏、大塚幸一氏と行いました。

「長野県北部地震後の復興の現状や課題について教えてほしい」というプロジェクトリーダーの雨宮里穂さん(健康栄養学科2年)からの問いかけに、特命対策課長が「地震の被害への復旧は98%以上完了となり、一部水道の水源確保を残すだけ。そのなかで震災前か



ら進行していた人口減少や過疎化が一気に加速し、それらへの対策が最大の課題」と説明してくださり、復興支援以外の新たな活動を模索することが求められていること確認しました。

また、副村長からは「冬の寒さと豪雪、そして過疎化というマイナスを逆手にとり、小さな村だからこそその魅力を発信していきたい。学生のみなさんには、雪下ニンジン、根曲り竹、

温泉などの村の魅力を、体験や交流を通じて多くの人に発信してほしい。各部署連携して学生との交流を応援したい」と激励をいただきました。

学生からは、料理コンテストへの応募表明や昨年の「食と農林漁業大学生アワード(農林水産省主催)」のファイナリスト特別賞である、株式会社マイナビ「学生の窓口」サイトでの記事掲載権を活用して栄村の魅力を発信する計画をお伝えしました。震災復興のために結成されたプロジェクトですが、今回の懇談を機に新たな活動が始まりそうです。

(地域づくり考房『ゆめ』課長 臼井 健司)

その他の活動については、地域づくり考房『ゆめ』のホームページをご覧ください。

決算報告

平成28年度は、平成29年度の教育学部開設に向け、設置認可申請、施設設備の取得、周知と学生募集等を行う準備の年となりました。教育学部棟である8号館建設費のうち1,322,342千円や、教育研究用機器備品・図書取得のための249,881千円など、設備投資となる多額の支出があり、過年度に積み立てた特定預金1,330,000千円を取り崩して支払資金に充当しました。また、教育学部設置に対し、松本大学同窓会から5,000千円、松本大学後援会

から3,000千円の寄付をいただいたほか、長野県と松本市からは各150,000千円の補助金を受けることができました。補助金の未使用額298,259千円については、翌年度以降の経費等に充てるため、特定預金として積み立てております。なお、教育学部の設置に係る収支については全て学校法人として取り扱っており、大学及び短大部の収支には影響を与えておりません。

既存の総合経営学部、人間健康学部、松商短期大学部については、本年度も入学定員を上回る多くの学生を迎えて定員を充足したほか、競争的補助金を獲得したことなどもあり、教育活動に必要

学校法人 松商学園

財産目録 平成29年3月31日

(単位 円)

| | |
|----------|----------------|
| 1. 資産 総額 | 14,808,811,940 |
| (1) 基本財産 | 11,669,430,148 |
| (2) 運用財産 | 3,139,381,792 |
| 2. 負債 総額 | 1,098,618,456 |
| (1) 固定負債 | 246,605,327 |
| (2) 流動負債 | 852,013,129 |
| 3. 正味財産 | 13,710,193,484 |

| 摘要 | 金額 (単位 円) |
|--------------------|-----------------------|
| 資産の部 | |
| 基本財産 | 11,669,430,148 |
| 土地 | 420,265㎡ |
| 松本市照3-6-1 | 校用地 44,130㎡ |
| 松本市新村2095-1 | 校用地 62,900㎡ |
| 松本市埋蔵2-1-1 | 校用地 11,134㎡ |
| 松本市筑摩2丁目2952-3 | 宅地 202㎡ |
| 松本市筑摩2丁目2952-10 | 宅地 969㎡ |
| 松本市筑摩4丁目2438 | 原野 442㎡ |
| 松本市青白瀬2143 | 山林 6,641㎡ |
| 松本市湯田温泉 | 山林 183,662㎡ |
| 東筑摩郡筑北村乱麻花川原961 | 原野 110,184㎡ |
| 建物 | 62,846㎡ |
| 学校法人 | 5,259.47㎡ |
| 松本大学 | 19,979.73㎡ |
| 松本大学松商短期大学部 | 7,021.34㎡ |
| 松商学園高等学校 | 21,816.12㎡ |
| 松本秀峰中等教育学校 | 8,769.60㎡ |
| 構築物 | 442,757.203 |
| 図書 | 532,067.029 |
| 教育研究用機器備品 | 624,714.584 |
| 管理用機器備品 | 35,695.843 |
| 車輛 | 308.645 |
| 運用財産 | 3,139,381,792 |
| 現金預金 | 2,291,750.534 |
| 第3号基本金引当特定資産 | 167,992.896 |
| 退職給与引当特定資産 | 150,000.000 |
| 松本大学教育学部教育研究引当特定預金 | 298,259.580 |
| 有価証券 | 6,488.630 |
| 未収入金 | 152,515.531 |
| 電話加入権 | 1,395.572 |
| ソフトウェア | 50,579.049 |
| 出資金 | 200.000 |
| 基金拠出金 | 3,000.000 |
| 差入敷金保証金 | 17,200.000 |
| 資産 総額 | 14,808,811,940 |

| 摘要 | 金額 (単位 円) |
|-----------------------------|-----------------------|
| 負債の部 | |
| 固定負債 | 246,605,327 |
| 退職給与引当金 | 246,605,327 |
| 流動負債 | 852,013,129 |
| 未払金 | 187,430,442 |
| 前受金 | 606,620,200 |
| 預り金 | 57,962,487 |
| 負債 総額 | 1,098,618,456 |
| 正味財産 (資産 総額 - 負債 総額) | 13,710,193,484 |

貸借対照表 平成29年3月31日

(単位 円)

| 科 目 | 本年度末 | 前年度末 | 増 減 |
|-----------------|-----------------------|-----------------------|------------------------|
| 資産の部 | | | |
| 固定資産 | 12,364,545,875 | 12,188,932,335 | 175,613,540 |
| 有形固定資産 | 11,669,430,148 | 10,479,215,099 | 1,190,215,049 |
| 土地 | 2,481,164,134 | 2,481,164,134 | 0 |
| 建物 | 7,552,722,710 | 6,050,306,156 | 1,502,416,554 |
| 構築物 | 442,757,203 | 487,508,691 | △ 44,751,488 |
| 教育研究用機器備品 | 624,714,584 | 423,204,087 | 201,510,497 |
| 管理用機器備品 | 35,695,843 | 38,359,499 | △ 2,663,656 |
| 図書 | 532,067,029 | 515,208,987 | 16,858,042 |
| 車輛 | 308,645 | 593,545 | △ 284,900 |
| 建設仮勘定 | 0 | 482,870,000 | △ 482,870,000 |
| 特定資産 | 616,252,476 | 1,647,832,896 | △ 1,031,580,420 |
| 第2号基本金引当特定資産 | 0 | 1,018,000,000 | △ 1,018,000,000 |
| 第3号基本金引当特定資産 | 167,992,896 | 167,832,896 | 160,000 |
| 退職給与引当特定資産 | 150,000,000 | 150,000,000 | 0 |
| 繰上返済引当特定資産 | 0 | 312,000,000 | △ 312,000,000 |
| 繰上返済引当特定預金 | 298,259,580 | 0 | 298,259,580 |
| その他の固定資産 | 78,863,251 | 61,884,340 | 16,978,911 |
| 電話加入権 | 1,395,572 | 1,395,572 | 0 |
| ソフトウェア | 50,579,049 | 32,800,138 | 17,778,911 |
| 有価証券 | 6,488,630 | 6,488,630 | 0 |
| 出資金 | 200,000 | 200,000 | 0 |
| 基金拠出金 | 3,000,000 | 3,000,000 | 0 |
| 差入敷金保証金 | 17,200,000 | 18,000,000 | △ 800,000 |
| 流動資産 | 2,444,266,065 | 2,229,947,232 | 214,318,833 |
| 現金預金 | 2,291,750,534 | 2,049,914,373 | 241,836,161 |
| 未収入金 | 152,515,531 | 180,032,859 | △ 27,517,328 |
| 資産の部合計 | 14,808,811,940 | 14,418,879,567 | 389,932,373 |

| 科 目 | 本年度末 | 前年度末 | 増 減 |
|---------------|----------------------|----------------------|---------------------|
| 負債の部 | | | |
| 固定負債 | 246,605,327 | 226,543,753 | 20,061,574 |
| 退職給与引当金 | 246,605,327 | 226,543,753 | 20,061,574 |
| 流動負債 | 852,013,129 | 872,435,375 | △ 20,422,246 |
| 短期借入金 | 0 | 16,660,000 | △ 16,660,000 |
| 未払金 | 187,430,442 | 186,147,370 | 1,283,072 |
| 前受金 | 606,620,200 | 618,993,550 | △ 12,373,350 |
| 預り金 | 57,962,487 | 50,634,455 | 7,328,032 |
| 負債の部合計 | 1,098,618,456 | 1,098,979,128 | △ 360,672 |

| 科 目 | 本年度末 | 前年度末 | 増 減 |
|----------------|------------------------|------------------------|----------------------|
| 純資産の部 | | | |
| 基本金 | 19,082,629,954 | 18,410,836,561 | 671,793,393 |
| 第1号基本金 | 18,612,637,058 | 16,923,003,665 | 1,689,633,393 |
| 第2号基本金 | 0 | 1,018,000,000 | △ 1,018,000,000 |
| 第3号基本金 | 167,992,896 | 167,832,896 | 160,000 |
| 第4号基本金 | 302,000,000 | 302,000,000 | 0 |
| 繰越収支差額 | △ 5,372,436,470 | △ 5,090,936,122 | △ 281,500,348 |
| 翌年度繰越収支差額 | △ 5,372,436,470 | △ 5,090,936,122 | △ 281,500,348 |
| 純資産の部合計 | 13,710,193,484 | 13,319,900,439 | 390,293,045 |

| 科 目 | 本年度末 | 前年度末 | 増 減 |
|--------------------|-----------------------|-----------------------|--------------------|
| 負債及び純資産の部合計 | 14,808,811,940 | 14,418,879,567 | 389,932,373 |

資金収支計算書 平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位 円)

| 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
|---------------|----------------------|----------------------|---------------------|
| 収入の部 | | | |
| 学生生徒等納付金収入 | 3,148,070,000 | 3,149,331,533 | △ 1,261,533 |
| 手数料収入 | 37,785,000 | 50,522,030 | △ 12,737,030 |
| 寄付金収入 | 16,650,000 | 22,439,297 | △ 5,789,297 |
| 補助金収入 | 1,288,435,000 | 1,318,813,988 | △ 30,378,988 |
| 資産売却収入 | 0 | 0 | 0 |
| 付随事業・収益事業収入 | 120,473,000 | 123,350,865 | △ 2,877,865 |
| 受取利息・配当金収入 | 3,560,000 | 4,895,558 | △ 1,335,558 |
| 雑収入 | 159,367,000 | 160,429,154 | △ 1,062,154 |
| 借入金等収入 | 0 | 0 | 0 |
| 前受金収入 | 572,359,000 | 606,620,200 | △ 34,261,200 |
| その他の収入 | 1,510,823,000 | 1,518,160,891 | △ 7,337,891 |
| 資金収入調整勘定 | △ 737,652,000 | △ 771,509,081 | △ 33,857,081 |
| 前年度繰越収支差額 | 2,049,914,000 | 2,049,914,373 | △ 359 |
| 収入の部合計 | 8,169,784,000 | 8,232,968,808 | △ 63,184,808 |
| 支出の部 | | | |
| 人件費支出 | 2,604,640,000 | 2,543,047,981 | △ 61,592,019 |
| 教育研究経費支出 | 1,145,193,000 | 1,035,654,585 | △ 109,538,415 |
| 管理経費支出 | 413,645,000 | 343,020,794 | △ 70,624,206 |
| 借入金等利息支出 | 250,000 | 166,600 | △ 83,400 |
| 借入金等返済支出 | 16,660,000 | 16,660,000 | 0 |
| 施設関係支出 | 1,323,310,000 | 1,322,652,000 | △ 658,000 |
| 設備関係支出 | 394,347,000 | 382,879,806 | △ 11,467,194 |
| 資産運用支出 | 298,420,000 | 298,419,580 | △ 420 |
| その他の支出 | 192,362,000 | 186,147,370 | △ 6,214,630 |
| 予備費 | 10,000,000 | 10,000,000 | 0 |
| 資金支出調整勘定 | △ 152,312,000 | △ 187,430,442 | △ 35,118,442 |
| 翌年度繰越収支差額 | 1,923,269,000 | 2,291,750,534 | △ 368,481,534 |
| 支出の部合計 | 8,169,784,000 | 8,232,968,808 | △ 63,184,808 |

事業活動収支計算書 平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位 円)

| 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
|------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 教育活動収支 | | | |
| 事業活動収入の部 | | | |
| 学生生徒等納付金 | 3,148,070,000 | 3,149,331,533 | △ 1,261,533 |
| 手数料 | 37,785,000 | 50,522,030 | △ 12,737,030 |
| 寄付金 | 7,450,000 | 13,255,137 | △ 5,805,137 |
| 競争費等補助金 | 1,267,945,000 | 1,298,320,988 | △ 30,375,988 |
| 付随事業収入 | 120,473,000 | 123,350,865 | △ 2,877,865 |
| 雑収入 | 159,367,000 | 160,429,154 | △ 1,062,154 |
| 教育活動収入計 | 4,741,090,000 | 4,795,209,707 | △ 54,119,707 |
| 事業活動支出の部 | | | |
| 人件費 | 2,614,340,000 | 2,563,109,555 | △ 51,230,445 |
| 教育研究経費 | 1,636,893,000 | 1,520,858,832 | △ 116,034,168 |
| 管理経費 | 424,845,000 | 353,761,601 | △ 71,083,399 |
| 徴収不能額等 | 0 | 0 | 0 |
| 教育活動支出計 | 4,676,078,000 | 4,437,729,988 | △ 238,348,012 |
| 教育活動収支差額 | 65,012,000 | 357,479,719 | △ 292,467,719 |
| 教育活動外収支 | | | |
| 事業活動収入の部 | | | |
| 受取利息・配当金 | 3,560,000 | 4,895,558 | △ 1,335,558 |
| その他の教育活動外収入 | 0 | 0 | 0 |
| 教育活動外収入計 | 3,560,000 | 4,895,558 | △ 1,335,558 |
| 事業活動支出の部 | | | |
| 借入金等利息 | 250,000 | 166,600 | △ 83,400 |
| その他の教育活動外支出 | 0 | 0 | 0 |
| 教育活動外支出計 | 250,000 | 166,600 | △ 83,400 |
| 教育活動外収支差額 | 3,310,000 | 4,728,958 | △ 1,418,958 |
| 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| 経常収支差額 | 68,322,000 | 362,208,677 | △ 293,886,677 |

な資金を確保することができました。支出の面では、経常収入に対する教育研究経費の割合である「教育研究経費比率」が全国平均を上回る水準となり、財政的にも充実した教育活動を行うことができたものと考えております。

平成28年度も平成27年度に続き、大学・短大としても学園全体としても、事業活動収支・資金収支の両面において収支のバランスがとれており、健全な運営が確保されております。

(大学事務局長 柴田 幸一)

| 特別収支 (単位 円) | | | |
|---------------|-----------------|-----------------|---------------|
| 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| 事業活動収入の部 | | | |
| 資産売却差額 | 0 | 0 | 0 |
| その他の特別収入 | 29,690,000 | 30,736,851 | △ 1,046,851 |
| 特別収入計 | 29,690,000 | 30,736,851 | △ 1,046,851 |
| 事業活動支出の部 | | | |
| 資産処分差額 | 1,110,000 | 2,652,483 | △ 1,542,483 |
| その他の特別支出 | 0 | 0 | 0 |
| 特別支出計 | 1,110,000 | 2,652,483 | △ 1,542,483 |
| 特別収支差額 | 28,580,000 | 28,084,368 | △ 495,632 |
| 予備費 | 10,000,000 | | |
| 予備費 | 10,000,000 | | |
| 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| 基本金組入前当年度収支差額 | 86,902,000 | 390,293,045 | △ 303,391,045 |
| 基本金組入額合計 | △ 716,799,000 | △ 671,793,393 | △ 45,005,607 |
| 当年度収支差額 | △ 629,897,000 | △ 281,500,348 | △ 348,396,652 |
| 前年度繰越収支差額 | △ 5,090,936,122 | △ 5,090,936,122 | 0 |
| 翌年度繰越収支差額 | △ 5,720,833,122 | △ 5,372,436,470 | △ 348,396,652 |
| 事業活動収入計 | 4,774,340,000 | 4,830,842,116 | △ 56,502,116 |
| 事業活動支出計 | 4,677,438,000 | 4,440,549,071 | △ 236,888,929 |

松本大学

資金収支計算書 平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

| 収入の部 (単位 円) | | | |
|-------------|---------------|---------------|--------------|
| 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| 学生生徒等納付金収入 | 1,662,913,000 | 1,664,248,620 | △ 1,335,620 |
| 手数料収入 | 16,541,000 | 26,802,844 | △ 10,261,844 |
| 寄付金収入 | 3,030,000 | 3,406,109 | △ 376,109 |
| 補助金収入 | 204,676,000 | 205,455,720 | △ 779,720 |
| 資産売却収入 | 0 | 0 | 0 |
| 付随事業・収益事業収入 | 95,867,000 | 98,608,555 | △ 2,741,555 |
| 受取利息・配当金収入 | 0 | 0 | 0 |
| 雑収入 | 35,455,000 | 39,633,890 | △ 4,178,890 |
| 借入金等収入 | 0 | 0 | 0 |
| 前受金収入 | 252,609,000 | 253,972,700 | △ 1,363,700 |
| その他の収入 | 86,004,000 | 86,009,776 | △ 5,776 |
| 資金収支調整勘定 | △ 314,347,000 | △ 317,635,017 | △ 3,288,017 |
| 前年度繰越収支差額 | 29,875,000 | 29,875,642 | △ 642 |
| 収入の部合計 | 2,072,623,000 | 2,090,378,839 | △ 17,755,839 |

| 支出の部 (単位 円) | | | |
|-------------|---------------|---------------|---------------|
| 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| 人件費支出 | 954,541,000 | 934,183,961 | △ 20,357,039 |
| 教育研究経費支出 | 534,695,000 | 484,328,246 | △ 50,366,754 |
| 管理経費支出 | 226,126,000 | 188,707,861 | △ 37,418,139 |
| 借入金等利息支出 | 0 | 0 | 0 |
| 借入金等返済支出 | 0 | 0 | 0 |
| 施設関係支出 | 0 | 0 | 0 |
| 設備関係支出 | 60,731,000 | 54,247,382 | △ 6,483,618 |
| 資産運用支出 | 0 | 0 | 0 |
| その他の支出 | 75,985,000 | 75,977,250 | △ 7,750 |
| 予備費 | 4,000,000 | | |
| 資金収支調整勘定 | △ 19,500,000 | △ 48,587,356 | △ 29,087,356 |
| 翌年度繰越収支差額 | 236,045,000 | 401,521,495 | △ 165,476,495 |
| 支出の部合計 | 2,072,623,000 | 2,090,378,839 | △ 17,755,839 |

事業活動収支計算書 平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

| 教育活動収支 (単位 円) | | | |
|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| 事業活動収入の部 | | | |
| 学生生徒等納付金 | 1,662,913,000 | 1,664,248,620 | △ 1,335,620 |
| 手数料 | 16,541,000 | 26,802,844 | △ 10,261,844 |
| 寄付金 | 3,030,000 | 3,406,109 | △ 376,109 |
| 経常費等補助金 | 204,676,000 | 205,455,720 | △ 779,720 |
| 付随事業収入 | 95,867,000 | 98,608,555 | △ 2,741,555 |
| 雑収入 | 35,455,000 | 39,633,890 | △ 4,178,890 |
| 教育活動収入計 | 2,018,482,000 | 2,038,155,738 | △ 19,673,738 |
| 事業活動支出の部 | | | |
| 人件費 | 974,341,000 | 953,891,237 | △ 20,449,763 |
| 教育研究経費 | 816,895,000 | 765,664,822 | △ 51,230,178 |
| 管理経費 | 229,126,000 | 191,500,891 | △ 37,625,109 |
| 徴収不能額等 | 0 | 0 | 0 |
| 教育活動支出計 | 2,020,362,000 | 1,911,056,950 | △ 109,305,050 |
| 教育活動収支差額 | △ 1,880,000 | 127,098,788 | △ 128,978,788 |

| 教育活動外収支 (単位 円) | | | |
|----------------|-------------|-------------|---------------|
| 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| 事業活動収入の部 | | | |
| 受取利息・配当金 | 0 | 0 | 0 |
| その他の教育活動外収入 | 0 | 0 | 0 |
| 教育活動外収入計 | 0 | 0 | 0 |
| 事業活動支出の部 | | | |
| 借入金等利息 | 0 | 0 | 0 |
| その他の教育活動外支出 | 0 | 0 | 0 |
| 教育活動外支出計 | 0 | 0 | 0 |
| 教育活動外収支差額 | 0 | 0 | 0 |
| 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| 経常収支差額 | △ 1,880,000 | 127,098,788 | △ 128,978,788 |

| 特別収支 (単位 円) | | | |
|-------------|-----------|---------|-----------|
| 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| 事業活動収入の部 | | | |
| 資産売却差額 | 0 | 0 | 0 |
| その他の特別収入 | 0 | 999,691 | △ 999,691 |
| 特別収入計 | 0 | 999,691 | △ 999,691 |
| 事業活動支出の部 | | | |
| 資産処分差額 | 240,000 | 501,478 | △ 261,478 |
| その他の特別支出 | 0 | 0 | 0 |
| 特別支出計 | 240,000 | 501,478 | △ 261,478 |
| 特別収支差額 | △ 240,000 | 498,213 | △ 738,213 |

| 予備費 (単位 円) | | | |
|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| 予備費 | 4,000,000 | | |
| 予備費 | 4,000,000 | | |
| 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| 基本金組入前当年度収支差額 | △ 6,120,000 | 127,597,001 | △ 133,717,001 |
| 基本金組入額合計 | △ 61,010,000 | △ 33,943,480 | △ 27,066,520 |
| 当年度収支差額 | △ 67,130,000 | 93,653,521 | △ 160,783,521 |
| 前年度繰越収支差額 | △ 790,243,757 | △ 790,243,757 | 0 |
| 翌年度繰越収支差額 | △ 857,373,757 | △ 696,590,236 | △ 160,783,521 |

| 事業活動収支 (単位 円) | | | |
|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| 事業活動収入計 | 2,018,482,000 | 2,039,155,429 | △ 20,673,429 |
| 事業活動支出計 | 2,020,602,000 | 1,911,558,428 | △ 109,043,572 |

松本大学松商短期大学部

資金収支計算書 平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

| 収入の部 (単位 円) | | | |
|-------------|---------------|---------------|--------------|
| 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| 学生生徒等納付金収入 | 441,275,000 | 441,513,960 | △ 238,960 |
| 手数料収入 | 7,460,000 | 8,826,886 | △ 1,366,886 |
| 寄付金収入 | 420,000 | 489,028 | △ 69,028 |
| 補助金収入 | 144,494,000 | 145,475,560 | △ 981,560 |
| 資産売却収入 | 0 | 0 | 0 |
| 付随事業・収益事業収入 | 4,444,000 | 4,521,390 | △ 77,390 |
| 受取利息・配当金収入 | 0 | 0 | 0 |
| 雑収入 | 20,650,000 | 22,009,974 | △ 1,359,974 |
| 借入金等収入 | 0 | 0 | 0 |
| 前受金収入 | 137,150,000 | 150,537,500 | △ 13,387,500 |
| その他の収入 | 39,903,000 | 39,905,442 | △ 2,442 |
| 資金収支調整勘定 | △ 172,688,000 | △ 194,113,864 | △ 21,425,864 |
| 前年度繰越収支差額 | 2,681,682,000 | 2,681,681,875 | △ 1,125 |
| 収入の部合計 | 3,304,790,000 | 3,300,847,751 | △ 3,942,249 |

| 支出の部 (単位 円) | | | |
|-------------|---------------|---------------|--------------|
| 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| 人件費支出 | 316,719,000 | 310,069,788 | △ 6,649,212 |
| 教育研究経費支出 | 164,296,000 | 154,582,190 | △ 9,713,810 |
| 管理経費支出 | 35,280,000 | 28,179,396 | △ 7,100,604 |
| 借入金等利息支出 | 0 | 0 | 0 |
| 借入金等返済支出 | 0 | 0 | 0 |
| 施設関係支出 | 0 | 0 | 0 |
| 設備関係支出 | 57,121,000 | 56,561,032 | △ 559,968 |
| 資産運用支出 | 0 | 0 | 0 |
| その他の支出 | 39,125,000 | 39,120,572 | △ 4,428 |
| 予備費 | 2,000,000 | | |
| 資金収支調整勘定 | △ 18,900,000 | △ 25,233,090 | △ 6,333,090 |
| 翌年度繰越収支差額 | 2,709,149,000 | 2,737,567,863 | △ 28,418,863 |
| 支出の部合計 | 3,304,790,000 | 3,300,847,751 | △ 3,942,249 |

事業活動収支計算書 平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

| 教育活動収支 (単位 円) | | | |
|---------------|-------------|-------------|--------------|
| 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| 事業活動収入の部 | | | |
| 学生生徒等納付金 | 441,275,000 | 441,513,960 | △ 238,960 |
| 手数料 | 7,460,000 | 8,826,886 | △ 1,366,886 |
| 寄付金 | 420,000 | 489,028 | △ 69,028 |
| 経常費等補助金 | 124,004,000 | 124,982,560 | △ 978,560 |
| 付随事業収入 | 4,444,000 | 4,521,390 | △ 77,390 |
| 雑収入 | 20,650,000 | 22,009,974 | △ 1,359,974 |
| 教育活動収入計 | 598,253,000 | 602,343,798 | △ 4,090,798 |
| 事業活動支出の部 | | | |
| 人件費 | 314,769,000 | 308,047,703 | △ 6,721,297 |
| 教育研究経費 | 207,996,000 | 196,768,495 | △ 11,227,505 |
| 管理経費 | 35,280,000 | 28,179,396 | △ 7,100,604 |
| 徴収不能額等 | 0 | 0 | 0 |
| 教育活動支出計 | 558,045,000 | 532,995,594 | △ 25,049,406 |
| 教育活動収支差額 | 40,208,000 | 69,348,204 | △ 29,140,204 |

| 教育活動外収支 (単位 円) | | | |
|----------------|------------|------------|--------------|
| 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| 事業活動収入の部 | | | |
| 受取利息・配当金 | 0 | 0 | 0 |
| その他の教育活動外収入 | 0 | 0 | 0 |
| 教育活動外収入計 | 0 | 0 | 0 |
| 事業活動支出の部 | | | |
| 借入金等利息 | 0 | 0 | 0 |
| その他の教育活動外支出 | 0 | 0 | 0 |
| 教育活動外支出計 | 0 | 0 | 0 |
| 教育活動外収支差額 | 0 | 0 | 0 |
| 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| 経常収支差額 | 40,208,000 | 69,348,204 | △ 29,140,204 |

| 特別収支 (単位 円) | | | |
|---------------|---------------|---------------|--------------|
| 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| 事業活動収入の部 | | | |
| 資産売却差額 | 0 | 0 | 0 |
| その他の特別収入 | 20,490,000 | 20,493,000 | △ 3,000 |
| 特別収入計 | 20,490,000 | 20,493,000 | △ 3,000 |
| 事業活動支出の部 | | | |
| 資産処分差額 | 520,000 | 1,820,790 | △ 1,300,790 |
| その他の特別支出 | 0 | 0 | 0 |
| 特別支出計 | 520,000 | 1,820,790 | △ 1,300,790 |
| 特別収支差額 | 19,970,000 | 18,672,210 | △ 1,297,790 |
| 予備費 | 2,000,000 | | |
| 予備費 | 2,000,000 | | |
| 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| 基本金組入前当年度収支差額 | 58,178,000 | 88,020,414 | △ 29,842,414 |
| 基本金組入額合計 | △ 57,164,000 | △ 54,065,229 | △ 3,098,771 |
| 当年度収支差額 | 1,014,000 | 33,955,185 | △ 32,941,185 |
| 前年度繰越収支差額 | 1,485,963,115 | 1,485,963,115 | 0 |
| 翌年度繰越収支差額 | 1,486,977,115 | 1,519,918,300 | △ 32,941,185 |

| 事業活動収支 (単位 円) | | | |
|---------------|-------------|-------------|--------------|
| 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| 事業活動収入計 | 618,743,000 | 622,836,798 | △ 4,093,798 |
| 事業活動支出計 | 558,565,000 | 534,816,384 | △ 23,748,616 |

学生が少年の立ち直り・健全育成に協力

長野県警察は、少年の立ち直り・健全育成のための大学生ボランティア事業を進めています。本学の学生もこれまで、信州大学学生などとともに参加してきましたが、今年は総合経営学科3名、観光ホスピタリティ学科4名が参加することとなりました。

この大学生ボランティア事業は、長野県では「信州ライポ隊」として活動しています（「ライポ」とは県警の公式マスコット「ライポくん」にちなんだものです）。県警本部長から委嘱状が発行され、月に1～2回、学習支援や社会奉仕活動などを行います。また、この他に防犯活動（広報啓発活動、情報発信活動や防犯パトロール、子ども見守り活動など）にも参

加します。今年は特に、「特殊詐欺予防活動」に力を入れることとなり、広報啓発活動や情報発信活動での参加が期待されています。そして、大学生ボランティア活動の経験は、参加した大学生自身の成長や将来の進路を考えるにあたっての刺激となっていることが報告されています。その意味で、本学学生自身の成長にも寄与する活動でもあります。

大学生ボランティアの基本方針は、「できることを」「できるときに」「できる範囲で」行うというものです。本学学生の若い力が地域の少年育成や防犯に発揮されることが期待されています。（観光ホスピタリティ学科 准教授 眞次 宏典）

平成28年度の学業成績優秀者を表彰

4月13日、本学において平成28年度学業成績優秀者を表彰しました。総合経営学部、人間健康学部では、進級時に前年度の成績をもとに各学科のGP Aトップの学生を表彰し、奨励金として授業料10万円を減免（特待生は除く）しました。表彰者は次の通りです。総合経営学科▽堀江穂乃花（4年）、赤羽祐香（3年）、稲井沙耶（2年）／観光ホスピタリティ学科▽堀越麻那（4年）、中野彬央（3年）、金子千尋（2年）／健康栄養学科▽鈴木朋佳（4年）、黒岩明希（3年）、山崎久樹（2年）／スポーツ健康学科▽大沢育未

（4年）、齋藤千春（3年）、清水純也（2年）
松商短期大学部では後期成績優秀者表彰式を行い、「トップ10」として後期の成績上位10名を表彰し、授業料10万円を減免（特待生を除く）しました。表彰者は次の通りです。商学科▽岩井志穂、武川千夏、田中美香、平林由衣、吉島優花／経営情報学科▽大谷真生、小林美弥、齋藤慧来、清水夏芽、柳澤瑠那（いずれも2年）（教務課長 丸山 勝弘）



平成29年度松本大学後援会総会を開催



5月27日に、平成29年度松本大学後援会総会を開催しました。

次の議案について審議がなされ、全会一致で承認されました。

第1号議案 平成28年度会務報告

第2号議案 平成28年度決算

第3号議案 平成29年度会務および予算

第4号議案 平成29年度役員選出議事終了後には、松本大学各学部および短期大学部の学事報告がなされました。

総会に引き続き、後援会主催の講演会が開催されました。今年度より開設された教育学部の守一雄教授を講師にお招きして、「中学生の数学嫌いは本当か？潜在連想テストを用いた『偽装数学嫌い』生徒の検出と救済」というテーマで講演をしていただきました。

たくさんの皆様にお集まりいただき盛会のうちに一連の行事が終了しました。

「動物慰霊祭」を実施

松本大学「動物慰霊祭」を5月24日、6号館東側の慰霊碑前で行いました。山田一哉研究科長（動物実験部会長）の挨拶に続き、動物実験実施者代表の教員から動物への感謝の言葉が述べられました。

動物実験は、学生の授業や卒業研究、また大学院生・教員による研究活動等で行われています。本学では動物実験を、単なる技術や知識の習得だけでなく、動物愛護や生命倫理、さらには健康に生きるとはどういうことかを考える機会として位置づけています。慰霊祭は年に一度ではあ

りますが、実験動物の尊い命を犠牲にしていること、また感謝の気持ちを確かめる貴重な機会になっています。

慰霊祭は雨に合うこともなく無事に行われ、参加者が慰霊碑に菊の花を捧げ、動物の霊を供養しました。

（健康科学研究科 教授 高木 勝広）



2016年度学長賞～教職員が表彰されました～

4月28日の開学記念日に、2016年度学長賞の表彰がありました。表彰者と表彰理由は次のとおりです。▽尻無浜博幸教授（観光ホスピタリティ学科長）：「観光」と「ホスピタリティ」とを結び付けた研究活動を展開。社会福祉士の国家試験対策、松本市と連携し世界平和や軍縮の問題、選挙権を18才まで引き下げることへの啓蒙活動等に注力した。▽川島一夫教授（教育学部長）：教育学部学校教育学科の設置準備室長として、学部設置および小学校・特別支援学校の

教員免許課程の認可申請において指導力を発揮した。▽糸井重夫教授（短期大学部長）：文部科学省「大学教育再生加速プログラム（AP）」申請責任者として、選定に貢献。国際交流センター長として、社会のグローバル化に対する本学の対応を推進した。

事務職員の「ベストスタッフ・オブ・ザ・イヤー賞」には、教育学部棟（8号館）の建築工事を教職員の要望を調整しながら順調に進め、また、補助金の獲得に向け積極的に取り組んだ総務課・石川大輔主事が選ばれました。

「新たな私学振興基盤の確立を目指す」方針の下 私大協の委員に選出される

日本私立大学協議会の総会で決定された本年度の基本方針に基づき、「私立大学基本問題研究委員会」が設置されています。委員長は金沢工業大学の黒田壽二学園長・総長で、北海道から九州まで総勢22名の委員の一人として私も選出されました。この委員会の下に「私立大学の振興政策に関する検討小委員会」（委員15名）と「地方創生に向けた大学のあり方検討小委員会」（委員12名）の設置が決まり、後者の委員長を任

されることになりました。文部科学省中央教育審議会における高等教育の将来像の検討、内閣府の「地方大学の振興及び若者雇用等に関する有識者会議」での検討等、まち・ひと・しごと創生の実現に関連して、大学改革の動きが急を告げる中で、地方小規模大学の代表として、全国課題の舵取りを行う重要な役割を与えられたと身が引き締まる思いです。

（学長 住吉 廣行）

日本棋院から本学へ感謝状

松本大学では、長年にわたっていくつもの囲碁大会が開催されてきました。会場貸出のみならず、競技委員長として工夫を凝らし、競技を円滑に進めることに尽力

し、小・中・高校生対象の大会運営にも積極的に取り組んでいます。松商短大では全国に先駆け囲碁の正規科目化を果たす等、伝統文化の普及発展に貢献したとして、このたび日本棋院から感謝状を贈呈されました。（学長 住吉 廣行）

ラート競技部

8月に松本大学でラート競技インカレ開催 卒業生も練習に訪れる

8月19、20日の両日、松本大学を会場に「第13回全日本学生ラート競技選手権大会」(インカレ)が開催されます。本学の部員たちも大会に向けて練習を重ねていますが、母校を訪れて一緒に練習する卒業生の姿も見られます。

ラート競技(運動)はいまだに普及途上であり、競技歴や性別などの枠組みに縛られない環境にあります。毎年12月に開催される全日本選手権大会では、大会終了後に、学生だけでなくOG・OBとなった社会人選手と合同での錬成会が開催されます。初心者と全日本級

選手が一堂に会し、所属団体の枠を超えて「技」を磨き合うことの成果は大きく、豊かな選手間交流が行われています。学生時代に得た、他大学の学生や社会人選手との交流が、卒業後も競技を続けようといったモチベーションに繋がっていることは間違いのないようです。

現在も、春から社会人となった卒業生が時間をつくっては練習に訪れ、後輩の指導をしています。後輩のサポートに加え、「12月の全日本選手権大会への出場」という目標を聞かせてくれ、また「職場からも『世界大会を目標に]



と応援していただいています」といった声を聞かせてくれます。不思議な魅力を持つラートの面白さが、これからの活動も支えてくれるであろうと期待しています。

(ラート競技部顧問 犬飼 己紀子)

女子ソフトボール部

プレッシャーとの戦い 12年連続インカレ出場

5月27、28日に「第23回北信越大学ソフトボール選手権(兼)文部科学大臣杯第52回全日本大学ソフトボール選手権北信越予選会」が富山県で開催されました。創部以来、北信越大学ソフトボール選手権大会11年連続



優勝ならびにインカレ出場を果たしてきた女子ソフトボール部ですが、今年は北信越地区のインカレ出場校枠がこれまでの2校から1校に減ったことにより、これまで経験したことのない緊張感の中での大会となりました。

負けたら連覇が途絶えるのはもちろん、部員にとって最大の目標であるインカレに出場すらできなくなるというプレッシャーは目の前の対戦相手以上に強敵でしたが、部員一丸と

なって大会に臨んだ結果、終わってみれば、ライバル金沢学院大を9-0(5回コールド)で下したのを始め、全試合コールド勝ちという圧倒的な力の差を見せつけ、無事に連覇とインカレ出場を果たすことができました。インカレでは「北信越の雄」の名に恥じぬようベスト4を目指し、堂々と挑戦してきたいと思います。一層のご支援・ご声援の程よろしくお願いします。

(女子ソフトボール部部長兼監督 岩間 英明)

男子ソフトテニス部

北信越リーグ1部に昇格!

男子ソフトテニス部が春の北信越リーグで1部昇格を果たしました。念願の1部昇格です。キャプテンの池田凜君(スポーツ健康学科3年)の気遣いと、彼を中心にまとまった部員達の必死さが生み出した成果でした。



今までも2回ほど1部昇格を果たしたことがありましたが、1部に留まることが出来ずいました。次の目標は、秋のリーグ戦で1部に留まることです。そして、1部としての風格を身につけることです。1部校と2部校の差は、技術的な差のみではありません。それを生み出す行動と習慣の差、意識の差でもあります。

少人数ながら学生達はソフトテニスを楽しみ、自らの目標実現に向けて日々真剣に取り組んでいます。今後も応援よろしく願い致します。(ソフトテニス部顧問 中島 弘毅)

軟式野球部

5年連続全国大会へ!

軟式野球部は、5月20日から開催された平成29年度春季大会において、長野県代表として5年連続で全国大会に駒を進めることができました。今年度は、徳武和季キャプテンを中心に、新たに迎えた16名の1年生を含め36名で熱心に活動しています。春季大会では、新チームの弱点と思われたピッチャーも急造ながらまとまったピッチングを展開し、打線も対信大戦でのサヨナラホームランをはじめ力を発揮して、全勝優勝を果たしました。その後、6月18日に行われた上位3チームによるプレーオフでも



勝利しました。

全国大会である第40回大学軟式野球選手権大会は、8月20日より長野オリンピックスタジアムを主会場に開催され、本学は、21日に県営上田野球場で九州地区代表の熊本県立大学との初戦に臨みます。一昨年、強豪校を相手に善戦しベスト4進出を果たしており、今年度もまたこの戦績を上回るべく部員一同張り切っています。

(軟式野球部部長 等々力 賢治)

硬式野球部

H29年関甲新学生野球連盟春季2部リーグ戦勝敗表

| 大学名 | 常 磐 | 松 本 | 茨 城 | 山梨学院 | 埼 玉 | 新 潟 | 順位 |
|------|----------------|----------------|---------------|--------------|---------------|-----|----|
| 常 磐 | ●2-3 ○1-0 | ○10-2 ●3-10 | ●1-4 ○0-10 | ●4-7 ○5-4 | ○4-2 ●2-6 | | 3 |
| 松 本 | ○3-2 ●0-1 | ○8-0 ●3-8 | ○6-7 ●2-4 | ○2-1 ●4-3 | | | 4 |
| 茨 城 | ●2-10 ○10-3 | ○0-8 ●6-2 | ○0-7 ●3-2 | ○6-7 ●2-4 | ○3-4 ●1-8 | | 5 |
| 山梨学院 | ○4-1 ○10-0 | ○6-0 ●8-3 | ○7-0 ●2-3 | ○7-3 ●4-0 | ○3-2 ●3-2 | | 1 |
| 埼 玉 | ○7-4 ●4-5 | ○7-6 ●4-0 | ○7-6 ●4-2 | ○3-7 ●0-4 | ○3-0 ●10-3 | | 2 |
| 新 潟 | ●2-4 ○6-2 | ○1-2 ●3-4 | ○4-3 ●8-1 | ○2-3 ●2-3 | ○0-3 ●3-10 | | 6 |

2018年度 入試日程

■ 総合経営学部／総合経営学科・観光ホスピタリティ学科 (定員: 総合経営学科90名、観光ホスピタリティ学科80名、編入学 各学科5名)

| | 試験区分 | 募集人員 | | 会場等 | 出願期間 | 試験日 | 合格発表日 | 手続締切日 |
|------|---------------|------|-----------|----------------------------|--|-------------|-------------|------------|
| | | 総合経営 | 観光ホスピタリティ | | | | | |
| 推薦 | 推薦前期 (指定校/公募) | 40 | 35 | 松本大学 | 2017年 10月 30日 (月) ~ 11月 6日 (月) | 11月 11日 (土) | 11月 20日 (月) | 12月 4日 (月) |
| | 推薦後期 | 5 | 5 | 松本大学 | 2017年 11月 27日 (月) ~ 12月 1日 (金) | 12月 10日 (日) | 12月 18日 (月) | 1月 9日 (火) |
| | 自己推薦 | 若干 | 若干 | 松本大学 | 2017年 11月 27日 (月) ~ 12月 1日 (金) | 12月 10日 (日) | 12月 18日 (月) | 1月 9日 (火) |
| AO | AOⅠ期 | 5 | 5 | 松本大学 模擬授業 / 面談 出願 | 2017年 8月 1日 (火) ~ 8月 20日 (日) 8月 25日 (金) 9月 4日 (月) ~ 9月 8日 (金) | 9月 15日 (金) | 9月 21日 (木) | 10月 6日 (金) |
| | AOⅡ期 | 5 | 5 | 松本大学 模擬授業 / 面談 出願 | 2017年 9月 21日 (木) ~ 9月 29日 (金) 10月 7日 (土) 10月 16日 (月) ~ 10月 20日 (金) | 11月 4日 (土) | 11月 20日 (月) | 12月 4日 (月) |
| 一般 | 一般A | 18 | 15 | 松本大学・東京 名古屋・新潟 甲府・那覇 | 2018年 1月 9日 (火) ~ 1月 26日 (金) | 2月 3日 (土) | 2月 13日 (火) | 2月 20日 (火) |
| | 一般B | 3 | 3 | 松本大学 | 2018年 2月 5日 (月) ~ 2月 16日 (金) | 2月 4日 (日) | 2月 23日 (金) | 3月 8日 (木) |
| | 一般C | 2 | 2 | 松本大学 | 2018年 2月 26日 (月) ~ 3月 9日 (金) | 2月 23日 (金) | 3月 19日 (月) | 3月 26日 (月) |
| センター | センター利用Ⅰ期 | 8 | 6 | 松本大学 | 2018年 1月 9日 (火) ~ 2月 2日 (金) | 2月 13日 (火) | 2月 20日 (火) | 2月 20日 (火) |
| | センター利用Ⅱ期 | 2 | 2 | 松本大学 | 2018年 2月 5日 (月) ~ 2月 21日 (水) | 3月 1日 (木) | 3月 8日 (木) | 3月 8日 (木) |
| | センター利用Ⅲ期 | 2 | 2 | 松本大学 | 2018年 2月 26日 (月) ~ 3月 12日 (月) | 3月 19日 (月) | 3月 19日 (月) | 3月 26日 (月) |
| その他 | 外国人留学生前期 | 若干 | 若干 | 松本大学 | 2017年 11月 27日 (月) ~ 12月 1日 (金) | 12月 10日 (日) | 12月 18日 (月) | 1月 9日 (火) |
| | 外国人留学生後期 | 若干 | 若干 | 松本大学 | 2018年 2月 5日 (月) ~ 2月 16日 (金) | 2月 23日 (金) | 3月 1日 (木) | 3月 8日 (木) |
| | 帰国生 | 若干 | 若干 | 松本大学 | 2017年 11月 27日 (月) ~ 12月 1日 (金) | 12月 10日 (日) | 12月 18日 (月) | 1月 9日 (火) |
| | 社会人 | 若干 | 若干 | 松本大学 | 2017年 11月 27日 (月) ~ 12月 1日 (金) | 12月 10日 (日) | 12月 18日 (月) | 1月 9日 (火) |
| 編入学 | 編入学Ⅰ期 | 3 | 3 | 松本大学 | 2017年 8月 28日 (月) ~ 9月 8日 (金) | 9月 15日 (金) | 9月 21日 (木) | 10月 6日 (金) |
| | 編入学Ⅱ期 | 2 | 2 | 松本大学 | 2017年 11月 27日 (月) ~ 12月 1日 (金) | 12月 10日 (日) | 12月 18日 (月) | 1月 9日 (火) |

■ 人間健康学部／健康栄養学科・スポーツ健康学科 (定員: 健康栄養学科70名、スポーツ健康学科100名、編入学 各学科5名)

| | 試験区分 | 募集人員 | | 会場等 | 出願期間 | 試験日 | 合格発表日 | 手続締切日 |
|------|--------------------|------|--------|----------------------------|--|-------------|-------------|------------|
| | | 健康栄養 | スポーツ健康 | | | | | |
| 推薦 | 推薦前期 (指定校/公募) | 28 | 45 | 松本大学 | 2017年 10月 30日 (月) ~ 11月 6日 (月) | 11月 11日 (土) | 11月 20日 (月) | 12月 4日 (月) |
| | 推薦後期 | 3 | 5 | 松本大学 | 2017年 11月 27日 (月) ~ 12月 1日 (金) | 12月 10日 (日) | 12月 18日 (月) | 1月 9日 (火) |
| | 自己推薦 | 若干 | 若干 | 松本大学 | 2017年 11月 27日 (月) ~ 12月 1日 (金) | 12月 10日 (日) | 12月 18日 (月) | 1月 9日 (火) |
| AO | AO (健康栄養学科) | 5 | 10 | 松本大学 模擬授業 出願 | 2017年 9月 21日 (木) ~ 9月 29日 (金) 10月 7日 (土) 10月 16日 (月) ~ 10月 20日 (金) | 11月 4日 (土) | 11月 20日 (月) | 12月 4日 (月) |
| | AOⅠ期 (スポーツ健康学科) | 5 | 10 | 松本大学 模擬授業 出願 | 2017年 8月 1日 (火) ~ 8月 20日 (日) 8月 25日 (金) 9月 4日 (月) ~ 9月 8日 (金) | 9月 15日 (金) | 9月 21日 (木) | 10月 6日 (金) |
| | AOⅡ期 (スポーツ健康学科) | 5 | 4 | 松本大学 模擬授業 出願 | 2017年 9月 21日 (木) ~ 9月 29日 (金) 10月 7日 (土) 10月 16日 (月) ~ 10月 20日 (金) | 11月 4日 (土) | 11月 20日 (月) | 12月 4日 (月) |
| 一般 | 一般A | 18 | 17 | 松本大学・東京 名古屋・新潟 甲府・那覇 | 2018年 1月 9日 (火) ~ 1月 26日 (金) | 2月 3日 (土) | 2月 13日 (火) | 2月 20日 (火) |
| | 一般B | 3 | 3 | 松本大学 | 2018年 2月 5日 (月) ~ 2月 16日 (金) | 2月 4日 (日) | 2月 23日 (金) | 3月 8日 (木) |
| | 一般C | 2 | 2 | 松本大学 | 2018年 2月 26日 (月) ~ 3月 9日 (金) | 2月 23日 (金) | 3月 19日 (月) | 3月 26日 (月) |
| センター | センター利用Ⅰ期 | 10 | 10 | 松本大学 | 2018年 1月 9日 (火) ~ 2月 2日 (金) | 2月 13日 (火) | 2月 20日 (火) | 2月 20日 (火) |
| | センター利用Ⅱ期 | 3 | 2 | 松本大学 | 2018年 2月 5日 (月) ~ 2月 21日 (水) | 3月 1日 (木) | 3月 8日 (木) | 3月 8日 (木) |
| | センター利用Ⅲ期 | 2 | 2 | 松本大学 | 2018年 2月 26日 (月) ~ 3月 12日 (月) | 3月 19日 (月) | 3月 19日 (月) | 3月 26日 (月) |
| その他 | 社会人AO (健康栄養学科) | 若干 | 若干 | 松本大学 模擬授業 出願 | 2017年 9月 21日 (木) ~ 9月 29日 (金) 10月 7日 (土) 10月 16日 (月) ~ 10月 20日 (金) | 11月 4日 (土) | 11月 20日 (月) | 12月 4日 (月) |
| | 社会人AOⅠ期 (スポーツ健康学科) | 若干 | 若干 | 松本大学 模擬授業 出願 | 2017年 8月 1日 (火) ~ 8月 20日 (日) 8月 25日 (金) 9月 4日 (月) ~ 9月 8日 (金) | 9月 15日 (金) | 9月 21日 (木) | 10月 6日 (金) |
| | 社会人AOⅡ期 (スポーツ健康学科) | 若干 | 若干 | 松本大学 模擬授業 出願 | 2017年 9月 21日 (木) ~ 9月 29日 (金) 10月 7日 (土) 10月 16日 (月) ~ 10月 20日 (金) | 11月 4日 (土) | 11月 20日 (月) | 12月 4日 (月) |
| | 外国人留学生 | 若干 | 若干 | 松本大学 | 2017年 11月 27日 (月) ~ 12月 1日 (金) | 12月 10日 (日) | 12月 18日 (月) | 1月 9日 (火) |
| 編入学 | 編入学Ⅰ期 | 3 | 3 | 松本大学 | 2017年 8月 28日 (月) ~ 9月 8日 (金) | 9月 15日 (金) | 9月 21日 (木) | 10月 6日 (金) |
| | 編入学Ⅱ期 | 2 | 2 | 松本大学 | 2017年 11月 27日 (月) ~ 12月 1日 (金) | 12月 10日 (日) | 12月 18日 (月) | 1月 9日 (火) |

■ 教育学部／学校教育科 (定員: 80名)

| | 試験区分 | 募集人員 | 会場等 | 出願期間 | 試験日 | 合格発表日 | 手続締切日 |
|------|---------------|--------|----------------------------|--|-------------|-------------|------------|
| 推薦 | 推薦前期 (指定校/公募) | 24 | 松本大学 | 2017年 10月 30日 (月) ~ 11月 6日 (月) | 11月 11日 (土) | 11月 20日 (月) | 12月 4日 (月) |
| | 推薦後期 | 3 | 松本大学 | 2017年 11月 27日 (月) ~ 12月 1日 (金) | 12月 10日 (日) | 12月 18日 (月) | 1月 9日 (火) |
| AO | AO | 5 | 松本大学 模擬授業 出願 | 2017年 9月 21日 (木) ~ 9月 29日 (金) 10月 7日 (土) 10月 16日 (月) ~ 10月 20日 (金) | 11月 4日 (土) | 11月 20日 (月) | 12月 4日 (月) |
| 一般 | スカラシップ | 7 | 松本大学・東京 名古屋・新潟 甲府・那覇 | 2018年 1月 9日 (火) ~ 1月 26日 (金) | 2月 3日 (土) | 2月 13日 (火) | 2月 20日 (火) |
| | 一般A | 20 | 松本大学 | 2018年 2月 5日 (月) ~ 2月 16日 (金) | 2月 4日 (日) | 2月 23日 (金) | 3月 8日 (木) |
| | 一般B 一般C | 2 2 | 松本大学 松本大学 | 2018年 2月 26日 (月) ~ 3月 9日 (金) | 2月 23日 (金) | 3月 19日 (月) | 3月 26日 (月) |
| センター | センター利用スカラシップ | 3 | 松本大学 | 2018年 1月 9日 (火) ~ 2月 2日 (金) | 2月 13日 (火) | 2月 20日 (火) | 2月 20日 (火) |
| | センター利用Ⅰ期 | 10 | 松本大学 | 2018年 1月 9日 (火) ~ 2月 2日 (金) | 2月 13日 (火) | 2月 20日 (火) | 2月 20日 (火) |
| | センター利用Ⅱ期 | 2 | 松本大学 | 2018年 2月 5日 (月) ~ 2月 21日 (水) | 3月 1日 (木) | 3月 8日 (木) | 3月 8日 (木) |
| | センター利用Ⅲ期 | 2 | 松本大学 | 2018年 2月 26日 (月) ~ 3月 12日 (月) | 3月 19日 (月) | 3月 19日 (月) | 3月 26日 (月) |
| その他 | 社会人AO | 若干 | 松本大学 模擬授業 出願 | 2017年 9月 21日 (木) ~ 9月 29日 (金) 10月 7日 (土) 10月 16日 (月) ~ 10月 20日 (金) | 11月 4日 (土) | 11月 20日 (月) | 12月 4日 (月) |
| | 外国人留学生 | 若干 | 松本大学 | 2018年 11月 27日 (月) ~ 12月 1日 (金) | 12月 10日 (日) | 12月 18日 (月) | 1月 9日 (火) |
| | 帰国生 | 若干 | 松本大学 | 2017年 11月 27日 (月) ~ 12月 1日 (金) | 12月 10日 (日) | 12月 18日 (月) | 1月 9日 (火) |

全入試において「WEB出願」を実施します。
詳しくは松本大学入試情報サイトでご確認ください。
▶ www.matsumoto-u.ac.jp/admissions

■ 松商短期大学部／商学科・経営情報学科 (定員:各学科100名)

| 試験区分 | 募集人員 | | 会場等 | 出願期間 | 試験日 | 合格発表日 | 手続締切日 | |
|-----------|--------------|------|---------------------|------------------------------|-------------------------------|------------|------------|-----------|
| | 商 | 経営情報 | | | | | | |
| 推薦 | 特待生推薦 | 若干 | 若干 | 松本大学 | 2017年 10月 26日(木) ~ 10月 30日(月) | 11月 4日(土) | 11月 8日(水) | 12月 4日(月) |
| | 推薦前期(指定校/公募) | 65 | 65 | 松本大学 | 2017年 10月 30日(月) ~ 11月 6日(月) | 11月 12日(日) | 11月 20日(月) | 12月 4日(月) |
| | 推薦後期 | 10 | 10 | 松本大学 | 2017年 11月 27日(月) ~ 12月 1日(金) | 12月 9日(土) | 12月 18日(月) | 1月 9日(火) |
| | 自己推薦 | 5 | 5 | 松本大学 | 2017年 11月 27日(月) ~ 12月 1日(金) | 12月 9日(土) | 12月 18日(月) | 1月 9日(火) |
| AO | AOⅠ期 | 5 | 5 | エントリー | 2017年 8月 1日(火) ~ 8月 20日(日) | 9月 15日(金) | 9月 21日(木) | 10月 6日(金) |
| | 面談 | | | 8月 28日(月) ~ 8月 31日(木) | | | | |
| | 留学支援型AOⅠ期 | 出願 | 9月 4日(月) ~ 9月 8日(金) | | | | | |
| | AOⅡ期 | 5 | 5 | エントリー | 2017年 9月 21日(木) ~ 9月 29日(金) | 11月 4日(土) | 11月 20日(月) | 12月 4日(月) |
| 留学支援型AOⅡ期 | 面談 | | | 10月 10日(火) ~ 10月 12日(木) | 出願 | | | |
| 一般 | 一般A | 5 | 5 | 松本大学・東京名古屋・新潟甲府・那覇 | 2018年 1月 9日(火) ~ 1月 26日(金) | 2月 3日(土) | 2月 13日(火) | 2月 20日(火) |
| | 一般B | 若干 | 若干 | 松本大学 | 2018年 2月 14日(水) ~ 2月 26日(月) | 3月 2日(金) | 3月 6日(火) | 3月 15日(木) |
| | 一般C | 若干 | 若干 | 松本大学 | 2018年 3月 5日(月) ~ 3月 15日(木) | 3月 20日(火) | 3月 23日(金) | 3月 28日(水) |
| センター | センター利用Ⅰ期 | 5 | 5 | | 2018年 1月 9日(火) ~ 2月 2日(金) | | 2月 13日(火) | 2月 20日(火) |
| | センター利用Ⅱ期 | 若干 | 若干 | | 2018年 2月 14日(水) ~ 2月 28日(水) | | 3月 6日(火) | 3月 15日(木) |
| | センター利用Ⅲ期 | 若干 | 若干 | | 2018年 3月 5日(月) ~ 3月 15日(木) | | 3月 23日(金) | 3月 28日(水) |
| その他 | 社会人AOⅠ期 | 若干 | 若干 | エントリー | 2017年 8月 1日(火) ~ 8月 20日(日) | 9月 15日(金) | 9月 21日(木) | 10月 6日(金) |
| | | | | 面談 | 8月 28日(月) ~ 8月 31日(木) | | | |
| | | | | 出願 | 9月 4日(月) ~ 9月 8日(金) | | | |
| | 社会人AOⅡ期 | 若干 | 若干 | エントリー | 2017年 9月 21日(木) ~ 9月 29日(金) | 11月 4日(土) | 11月 20日(月) | 12月 4日(月) |
| | | | | 面談 | 10月 10日(火) ~ 10月 12日(木) | | | |
| | | | | 出願 | 10月 16日(月) ~ 10月 20日(金) | | | |
| 外国人留学生前期 | 若干 | 若干 | 松本大学 | 2017年 11月 27日(月) ~ 12月 1日(金) | 12月 9日(土) | 12月 18日(月) | 1月 9日(火) | |
| 外国人留学生後期 | 若干 | 若干 | 松本大学 | 2018年 2月 5日(月) ~ 2月 16日(金) | 2月 23日(金) | 3月 1日(木) | 3月 8日(木) | |
| 帰国生 | 若干 | 若干 | 松本大学 | 2017年 11月 27日(月) ~ 12月 1日(金) | 12月 9日(土) | 12月 18日(月) | 1月 9日(火) | |

■ 松本大学大学院／健康科学研究科健康科学専攻 (一般学生・学内推薦学生・社会人共通)

| 試験区分 | 募集人員 | 会場等 | 出願期間 | 試験日 | 合格発表日 | 手続締切日 | |
|------|------|-----|------|----------------------------|-----------|-----------|-----------|
| 大学院 | 前期 | 3 | 松本大学 | 2017年 8月 28日(月) ~ 9月 8日(金) | 9月 15日(金) | 9月 21日(木) | 10月 6日(金) |
| | 後期 | 3 | 松本大学 | 2018年 1月 9日(火) ~ 1月 26日(金) | 2月 4日(日) | 2月 13日(火) | 2月 20日(火) |

2017年度入学試験の状況

■ 松本大学大学院 [修士課程]

| 研究科 | 専攻 | 入学定員 A | 志願者数 | 受験者数 B | 合格者数 C | 競争率 B/C | 手続者数 | 入学者数 D | 充足率 D/A |
|------|------|--------|------|--------|--------|---------|------|--------|---------|
| 健康科学 | 健康科学 | 6 | 3 | 3 | 2 | 150.0% | 2 | 2 | 33.3% |
| | 合計 | 6 | 3 | 3 | 2 | 150.0% | 2 | 2 | 33.3% |

※留学生を除く

■ 松本大学 1年次入学生

| 研究科 | 学科 | 入学定員 A | 志願者数 | 受験者数 B | 合格者数 C | 競争率 B/C | 手続者数 | 入学者数 D | 充足率 D/A |
|------|-----------|--------|-------|--------|--------|---------|------|--------|---------|
| 総合経営 | 総合経営 | 80 | 372 | 361 | 96 | 376.0% | 82 | 82 | 102.5% |
| | 観光ホスピタリティ | 80 | 343 | 331 | 98 | 337.8% | 82 | 82 | 102.5% |
| | 小計 | 160 | 715 | 692 | 194 | 356.7% | 164 | 164 | 102.5% |
| 人間健康 | 健康栄養 | 80 | 208 | 203 | 109 | 186.2% | 75 | 75 | 93.8% |
| | スポーツ健康 | 80 | 251 | 243 | 122 | 199.2% | 100 | 100 | 125.0% |
| | 小計 | 160 | 459 | 446 | 231 | 193.1% | 175 | 175 | 109.4% |
| 教育学部 | 学校教育学科 | 80 | 278 | 267 | 144 | 185.4% | 65 | 65 | 81.3% |
| | 小計 | 80 | 278 | 267 | 144 | 185.4% | 65 | 65 | 81.3% |
| 合計 | | 400 | 1,452 | 1,405 | 569 | 246.9% | 404 | 404 | 101.0% |

※留学生を除く

■ 松本大学 編入・転入学生

| 研究科 | 学科 | 入学定員 A | 志願者数 | 受験者数 B | 合格者数 C | 競争率 B/C | 手続者数 | 入学者数 D | 充足率 D/A |
|------|-----------|--------|------|--------|--------|---------|------|--------|---------|
| 総合経営 | 総合経営 | 5 | 5 | 5 | 4 | 125.0% | 4 | 4 | 80.0% |
| | 観光ホスピタリティ | 5 | 2 | 2 | | | | | |
| | 小計 | 10 | 7 | 7 | 4 | 175.0% | 4 | 4 | 40.0% |
| 人間健康 | 健康栄養 | 5 | 3 | 3 | 1 | 300.0% | 1 | 1 | 20.0% |
| | スポーツ健康 | 5 | | | | | | | |
| | 小計 | 10 | 3 | 3 | 1 | 300.0% | 1 | 1 | 10.0% |
| 合計 | | 20 | 10 | 10 | 5 | 200.0% | 5 | 5 | 25.0% |

※留学生を除く

■ 松本大学松商短期大学部

| 研究科 | 学科 | 入学定員 A | 志願者数 | 受験者数 B | 合格者数 C | 競争率 B/C | 手続者数 | 入学者数 D | 充足率 D/A |
|-------|------|--------|------|--------|--------|---------|------|--------|---------|
| 短期大学部 | 商 | 100 | 117 | 116 | 111 | 104.5% | 105 | 105 | 105.0% |
| | 経営情報 | 100 | 144 | 143 | 130 | 110.0% | 115 | 115 | 115.0% |
| | 合計 | 200 | 261 | 259 | 241 | 107.5% | 220 | 220 | 110.0% |

※留学生を除く

2017年度は、入試を取り巻く環境に大きな変化があり、過去に例がない困難なものになりました。一つは、文部科学省の指針により、本学のような地方大学が今後さまざまな改革を進めていくには、すべての学部で過去4年間の入学者平均を定員の1.15倍未満に抑制しなければならないということです。昨年度から続く「文高理低」という受験生のトレンドの中で強く影響を受けたのが、入学者数を厳密に管理しなければならなかった総合経営学部でした。もう一つは、新しく設置された教育学部です。学校教育学科では初めての入試であり、受験生の動向が明確に読みきれずに、定員割れを起こしてしまいました。

次年度は、長野県短期大学閉校と県立大学の開学、長野大学につづく諏訪東京理科大学の公立化を見据え、本学では総合経営学科とスポーツ健康学科の定員増、健康栄養学科の定員減を行い対応します。学校教育学科ももはや定員を割ることはできない入試になると思いますが、より良い人材を迎えられるよう教職員が一丸となって進めていきます。

(2016年度入試委員長 山田 一哉)

アメフトとリスク

スポーツ健康学科 准教授 新井 喜代加

映画好きの先生から「コンカッション (Concussion)」というDVDをお借りした。「concussion」は辞書で「^{ぶんどう}震盪」、「衝撃」と定義されている。近年、スポーツ活動中の脳震盪が問題視されている。その火付け役とも言われる映画である。元NFL(全米プロアメフトリーグ)選手らの死因が、現役時代に受けた脳への衝撃であることを突き止めたオマル医師と、そのことを隠蔽しようとするNFLとの闘いが実話に基づいて描かれている。

スポーツ問題を扱った映画を一人で観るのはもったいない。ゼミ生と一緒に鑑賞し、「何が問題か」を考えた。元NFL選手が、突然、家族を捨て、自らホームレスの道を選んだり、感情を抑えられず、部屋をめちゃくちゃにしたり、自ら

命を絶ったりする。そのような行動は、現役中の脳震盪に起因する脳機能障害からであった。NFLはこの因果関係をオマル医師より前に把握していた。にも関わらず、選手達に伝えず隠し通そうとした。これが問題だと、ゼミ生の見解は大体一致した。

どのスポーツにも程度の差はあれ危険が内在する。だから私達がスポーツに参加した場合、そのスポーツの内在的危険を引き受けたことになる。選手が激しく体をぶつけ合うアメフトには、最悪、死に至る危険が内在する。映画の元NFL選手はその危険を引き受けたことになる。しかし、その危険に「脳震盪による脳機能障害」が含まれることをNFLから知らされていなかった。つまり、選手らは、アメフトの内在的危険を正しく理解す

る機会を奪われプレーしてきたのだ。スポーツの参加がそのスポーツの内在的危険を引き受けることであるならば、アメフトの危険についてより正確な情報を選手に提供することが、チーム統括団体NFLの使命ではないだろうか。

とはいえ、NFLを理解できないわけではない。私には、大学と高校それぞれのアメフト部に所属する2人の甥がいる。共に全国制覇を狙う伝統校だ。叔母として今すぐ彼らにこの映画を観てほしい。そして、相手チームの選手が突進してきたら監督の指示等聞かずとにかく逃げろと言いたい。しかし、伝統校の現役選手にしてみれば、そのようなアドバイスは非現実的で、^{ひんしゆく}響きを買つかも知れない。一研究者として適切なアドバイスとタイミングを探っている。

Information

2017オープンキャンパス 【途中参加・途中退出可】

高校生はもちろん、保護者や教員の方もぜひご参加ください。

●松本大学・松商短大

【日時】 7/23(日) 8/6(日) 8/20(日) 9/24(日)
10:30~15:30(受付10:00~)

【内容】松本大学・松商短大概要説明、学科説明、ミニ講義、体験講座、トレーニングルーム体験、ランチ無料体験、キャンパス見学ツアー、個別相談(入試・授業・資格・就職・学生なんでも相談) etc.

●特別授業公開(全学部・学科)

【日時】 10/9(祝)



無料シャトルバス運行 ※松本駅以外要予約

長野県内<松本駅、長野駅、上田駅、佐久平駅、岡谷駅、下諏訪駅、茅野駅、伊那(上伊那農業高校前)、飯田駅>・山梨県<甲府駅、小淵沢駅>・新潟県<新潟駅、高田駅>

詳しくはホームページでご確認いただくか、入試広報室までお問い合わせください。

www.matsumoto-u.ac.jp ☎0120-507-200

平成29年度 松本大学 「防災士養成研修講座」のお知らせ

【日時】 10/21(土)・22(日)の2日間

【会場】松本大学5号館内教室

【検定試験】10月22日 講義終了後

長野県内唯一の防災士養成研修機関である松本大学は、平成29年度「防災士養成研修講座」を10月21、22日の2日間の日程で開催します。講座カリキュラムはNPO法人日本防災士機構の認定を受けており、講座終了後の防災士資格取得試験の受験資格を得られます。

【問い合わせ先】松本大学防災士講座事務局 TEL 0263-48-7200

全国高校生合同販売会 第5回「デパートゆにっと」開催

【日時】 8/18(金)~8/20(日) 10:00~18:00 (最終日16:00まで)

【場所】井上百貨店 本店7階催事場

主催:長野県商業教育研究会 共催:松本大学

長野県内で商業を学ぶ高校生が、松本大学で開催する「マーケティング塾」で、実践的な学習を重ねてきました。その成果発表の場として、合同販売会を開催します。あわせて松本市制110周年を記念して商業の歴史に関する資料の展示を本学の学生が行います。

編集後記

教育をめぐる話題が毎日のように新聞、テレビのニュースになっている。長野県内の高等教育も、相次ぐ私立大学の公立化と県立短大の4年制化で一気に国公立大学が5校になる。少しでも長野県の高校生の進学先を増やそうという目的もあると聞いている。果たしてその結果はいかに?

本学の使命・目的は「地域社会に貢献できる人材の育成」。「まちづくり」「健康づくり」「ひとづくり」それぞれの専門分野の人材養成と研究を通し、一丸となってこの地を盛り上げていく。大学開学15年、人間健康学部開設10周年を迎えた。今朝、卒業生の活躍する情報が入試広報室に舞い込んできた。自然と頬が緩む。本学が目指してきたものが間違っていないという証である。地域に信頼される大学を目指す我々にも大きな励みとなる。(記・入試広報室長 中村 文重)

